

第四十四回帝國議會  
衆議院

# 國有財産法案委員會會議錄(速記)第三回

## 會議

大正十年一月三十一日午後一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 清水市太郎君 | 澤 來太郎君 | 宮古啓三郎君 |
| 日野 辰次君 | 長谷場 敦君 | 竹上藤次郎君 |
| 深見寅之助君 | 佐野 正雄君 | 伊藤 廣幾君 |
| 野口忠太郎君 | 清 釜太郎君 | 降旗元太郎君 |
| 野田文一郎君 | 中川幸太郎君 |        |

出席政府委員左ノ如シ

|          |        |
|----------|--------|
| 內務省參事官   | 山縣 治郎君 |
| 北海道廳長官   | 笠井 信一君 |
| 大藏省主計局長  | 西野 元君  |
| 主計局書記官   | 河本 文一君 |
| 農商務次官    | 田中 隆三君 |
| 農商務省山林局長 | 中井 勵作君 |

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

## 國有財産法案

○委員長代理(宮古啓三郎君) 是ヨリ開會致シマス、前回ニ引續キマシテ質問ノアル方ハ御質問ヲ願ヒマス

○竹上藤次郎君 前々回ニ質問ヲ保留シテ置キマシタガ、大分日ガ經チマスノデ、或ハ重複ノ點ガアリマスケレドモ、モウ一度寺院ニ關スル土地無償拂下ノ質問ヲ致スノデアリマス、本法第二十四條ヲ決シマスルコトニ就テ、甚ダ疑ヲ存スルノデアリマス、ソレハ寺院ノ土地ヲ無償拂下スベキモノデアルヤ、或ハ無償貸與スベキヤ否ヤニ就テ、茲ニ甚ダ疑ヲ存スルノデアリマス、此事ヲ決定スルニ就テハ先ヅ寺院ノ土地ヲ有シテ居ル歴史カラ考ヘテ見ナケレバ決定ガシ惡イト思ヒマス、ソレハ寺院ノ創立サレマスル時ニ於テ、ドウ云フ形式ニ創立サレタカト云フ事ヲ調べテ見マスルト、當時ノ政府ノ命令ニ依ッテ建テラレタ寺院モアリ、或ハ勅命ヲ蒙ッテ建テラレタ寺院モアリ、若クハ信仰者ノ信徒ノ感シニ依ッテ寄附サレタ土地ヲ有スル寺院モアルガ、其寺院ノ多クハ、信徒ノ

寄附ヲシタ土地ノ多イト云フ事ヲ發見致シマシタ、而シテ明治初年ニ至ッテ、政府ハ矢張——太政官ノ布告ヲ見マスルノニ、今般社寺領地現在ノ境内ヲ除クノ外一般土地仰付ル「ト云フヤウナ公布ヲ出シテ居ル所ヲ見ルト、寺院ニ對シテ必要ナル土地ハ、寺院ノ所有ニスルガ宜シイ、寺院ニ直接必要ヲ感ジナイ境内ヲ除クノ土地ハ、之ヲ上地スルガ適當デアアル、所謂官有ニシテシマウ方ガ適當デアアルト云フヤウナ意見ヲ明治政府ガ持ッテ居ッタヤウニ思フノデアリマス、併ナガラ其後明治八年ニ至ッテ、所謂地租改正局ガ出來マシタ時ニ、是等ノ土地ガ租稅ヲ負擔シナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ、寺院ハ舉ッテ全部國家ニ其土地ヲ境内モ共ニ獻納シテシマッタ事實ガアリマス、併ナガラ其十一年ニ至ッテ、ドウモ國有ニ全部ナツテハ寺院ガ心細イト云フヤウナ感ジガシタ結果、十一年ニ又運動ヲ始メテ、ドウカ私有地ニ戻シテ呉レト云フ運動ガ始マツテ願書ヲ出シタモノニ就テハ、其寺院ニ土地ヲ無償交付シテヤルト云フ內務省ノ訓令ガ出タノデアリマス、而シテ明治二十三年ニ至ル間ニ、多クノ土地ハ寺院ニ無償下付サレテ居ッタ、ソウシテ憲法發布ニナツテ議會ガ出來テカラ、政府ハサウ云フ事ヲ致シマセズシテ、全部官有地ノ取扱ニシテ來タノデアリマス、政府ガ其時ニ至ッテ、始メテ官有地デアルトノ意思ヲ決定シタノデアリマス、其後ニ於テモ、行政訴訟ガ起ッタ場合ハ、當時明治以前ニ於テ、明ニ私有地デアッタト云フヤウナ證據ノアルモノハ、多クハ其裁判ノ結果 無償拂下ラシテ居ッタヤウニ思フノデアリマス、又茲ニ明治三十九年八月勅令第二百二十號ニ依ッテ「寺院佛堂ノ合併ニ因リ不用ノ歸シタル境内官有地ハ官有財産管理上必要ノモノヲ除クノ外內務大臣ニ於テ之ヲ其合併シタル寺院佛堂ニ讓與スルコトヲ得」即チ大藏省カラ貰ヒマシタ參考書ノ中ニアリマス、即チ二ツノ寺ヲ合シテ一ツニシタ場合ハ、其不用ニナッタ土地ハ、當然寺院ニ吳レテヤルト云フコトヲ政府ガ決定シテ居リマス、是等

ヲ參酌シテ見ルト、政府ハ初メテ寺ニ直接必要ナモノハ、民有地トシテ、寺院ノモノトシテヤルガ適當デアアル、所ガ又三十九年ニ至ッテ左様ナ勅令ガ出テ來マシタカラ、私ハ此點ニ於テ寺其モノ、土地ハ、民有地ト決定シタ方ガ宜イノデハナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、政府ハ果シテ如何ナル御解釋ヲ持ッテ居リマスカ、確タル御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○河本政府委員 只今明治初年ヨリノ沿革ニ就テ縷縷御話ガアリマシタガ、大體ニ於テ御話ノ通りデアリマスガ、此沿革ノ事實ニ就テハ、御話ノ通りデアリマスガ、唯ダ明治三年ノ布告ニ依リマシテ、現境内ヲ除クノ外、一般ニ上地スルト云フ事ニナリマシタノデ、明治三年ノ布告ニハ、境内ヲ除外シテ居ッタノニ、明治八年ニ地租改正局ト云フモノガ出來タ時ニ、境内地モ全部官有地ニシテシマッタト云フ御話デゴザイマスガ、此點ニ於テハ、聊カ事實ガ相違シテ居ル様ニ考ヘマス、御承知ノ如ク、明治七年十一月矢張太政官布告ヲ以チマシテ、地所名稱區別ト云フモノガ出來マシタ、此法律ニ依リマス、ソレヨリ前ハ社寺ノ境内地ト云フヤウナモノハ、名稱區別ノ上ニ於キマシテハ、除租地ト云フコトニシテ、官有地デアルカ、民有地デアルカ、分ラヌヤウニ整理シテ居ッタノデアリマスガ、地租ヲ徵收スル必要カラ、サウ云フ曖昧ノ土地ハ、官有地ト民有地トニ區別致シマシテ、其內民有ニアラザル寺院ノ境内地ト云フヤウナモノハ、是ハ官有地ノ第四種トシテ整理スル事ニ致シマシタ、隨テ之ニ基キマシテ改正局ニ於キマシテハ、其事務規定ト云フヤウナモノヲ出シマシテ、實際ニ於テ寺院ノ土地ノ内、民有地ト官有地トヲ區別致シマシタ、現在官有地トナツテ居リマス寺院ノ境内地ト云フモノハ、此區分ノ當時ニ於テハ、民有デアルト云フ事實ノナイモノヲ官有トセラレタモノニ外ナリマセヌ、其後中ニハ間違ッタモノモゴザイマスシ、或ハ今御話ノヤウニ、明治十一年ノ內務省令デ下渡シタモノモゴザイマス、其他下戻法ニ依テ下戻シタモノモ

アリマシテ、大體ニ於テ殘ツテ居リマス所ノモノハ、先づ間違ヒノナイ初メカラノ官有地デアアル所ノモノ、即チ明治初年カラ官有地トシテ法律ノ上ニ扱ハレテ居タモノノミデゴザイマス、隨テハ明治初年ノ事デハゴザイマスガ、何レモ法律ニ依リマシテ、各適法ナル處分ヲ致シテ、官有地民有地ヲ區分致シタモノデゴザイマスノデ、今更之ヲ民有トスルガ宜イトカ官有トスルガ宜イトカ云フ問題ハ生ジマセヌ、現在ニ於キマシテ、及ビ將來ニ於キマシテモ、官有地トシテ取扱ハナケレバナラヌト云フコトハ、疑ナイト考ヘマス

○竹上藤次郎君 只今ノ政府委員ノ答辯ニ依ルト、明治初年ニ官有地トシテ取扱タツト云フ御話デアリマシタガ、ソレニ就テハ何カ書類デモ殘ツテ居リマスカ

○河本政府委員 ソレハ只今申上ゲマシタ明治七年十一月七日ノ第二百二十號布告地所名稱區別ト云フ法律デゴザイマス、此法律ノ中ノ官有地第四種ト云フ内ニ「寺院、大中小學校、説教所、病院等民有地ニアラザルモノ」ト云フ條項ガアリマシテ、之ニ依ッテ時ノ官吏ガ實地ニ就キマシテ、民有地ト官有地トノ區別ヲ致シマシタ、其以前ニ官有地デアッタト云フ證據ハ殘ツテ居リマセヌ

○竹上藤次郎君 成程明治七年十一月太政官布告第百二十號ハ、確ニ官有地トシタ事ハ明デアリマスカ、併ナガラ明治三年十二月ノ太政官布告ヲ見マス、今申シマシタ通り、境内地ヲ除クノ外ハ皆上地ヲサセ、境内ハ寺院自身ノモノニ歸スト私ハ見受ケマス、ソレヲ訂正シタモノト思ヒマスガ

○河本政府委員 明治三年ノ布告ノ、境内地ヲ除クノ外ハ、上地セシムルト云フコトハ、現境内地ヲ民有トシテ其他ノモノヲ上地セシメテ官有トスルト云フ主旨デハアリマセヌ、此上地ト申シマスノハ、此前ニモ御話致シマシタヤウニ、領主權トモ申シマシタ、公法上ノ土地支配權ヲ取上グル主旨デアリマシテ、恰モ大名ノ領地ヲ上地セシメタノト同ジ主旨デゴザイマス、隨テソレハ無論官有地ニ就テ言フ話デゴザイマス、其他ノ土地、現境内地ガ、是ガ民有地デアルト云フ風ニ、積極的ニ認メタ譯デアリマセヌ、是ダケ

ハ今マデノ通り寺ヲシテ私有セシムルト云フ主旨デアッタノデアリマシテ、別ニソレヲ民有地デアルトシタ譯デアリマセヌ、其後殘ツテ居ルモノニ就キマシテハ、私法上ノ權利ガ何處ニ屬スルカト云フコトヲ定メタ譯デアリマセヌ

○竹上藤次郎君 只今大名ノ土地ヲ上地セシムルト云フ意味ト同ジ意味ニ於テ明治三年太政官布告ハ出タト、斯様ニ仰セニナリマシタガ、ソレニ就テハ少シ意見ニナリマス、質問ノ程度ヲ超エルカモ知レマセヌガ、私ノ考カラ致シマス、大名ノ土地ハ其土地ノ收益ヲ目的トシテ居タノデアリマシテ、ソレハ成程上地ヲサセルト云フノハ、收益ヲ取上グルト云フ意味デアリマス、併ナガラ寺院ノ上地ト云フモノハ、決シテ左様ナ意味デハナクシテ、收益ヲ目的トセザル地上權ヲ設定サレテ居タノデアリマシテ、ソコニ於テ大名ノ土地ト寺院ノ土地トハ、多少違タ所ガアル、大名ト云フノハ、即チ收益ヲ幕府カラ貰ッテ居タト云フノデアリマシテ、寺ト云フモノハ、土地其モノヲ貰ッテ居タト云フ様ニ解釋ガ出來マス、明治三年太政官布告ニ就キマシテハ、政府委員トハ多少意見ヲ異ニシテ居リマスガ、其點ハドンナモノデスカ

○河本政府委員 只今ノ御話ノヤウニ、寺院ノ領シテ居タモノハ、所有權マデモ持ッテ居タト云フ事實ハ、全ク事實ニ相違シテ居ルト考ヘマス、現ニ明治三年十二月ノ布告ニ於キマシテモ、第三項ノ所ニ「上知ノ田畑百姓所有ニアラスシテ、該社寺直作若クハ小作預ケノ分年貢諸役百姓並相勤ムルモノハ舊ニ依テ該社寺所有トシ妨ケナシ」ト書イテアリマシテ、之ヲ以テ見マシテモ、社寺領ノ中ニハ百姓ノ所有ノモノモアリ、社寺ノ所有ノモノモアリ、其他官有地ノモノモアリ、色々ナモノガ入ッテ居タト云フコトハ疑ナイ事デアリマス

○竹上藤次郎君 寺院ノ所持シテ居リマス土地ニ、二ツノ種類ノアル事ハ、是ハ明白ナ事デ、全然大名ガ自分ノ年貢米ヲ貰フベキ爲メニ土地ヲ持ッテ居ル、大名ト同ジヤウナ意味ニ於テ、所謂寺院ノ維持費ノ目的ヲ以テ、大名ト同ジ意味ニ貰ッテ居タト云フ事ニナッテ居リハシナイカト思ヒマス、併ナガラ是以上申

上ゲマシテモ、是ハ議論ニ互ルト思ヒマスカラ、是デ質問ハ打切ッテ吾々ノ意見ヲ決定致シマス

○清水市太郎君 私ハ政府委員ノ農商務次官ニ御尋ノモノヲ官有ニ編入シタモノハ澤山アツテ、現ニ訴訟提起中ノモノモアルノデアリマス、期限ヲ遅ラシテ訴訟ニナラヌデ居ルモノモアツテ、其中ニ民有證據ノアルモノガ澤山アルノデアリマス、サウ云フモノハ、隨分明カニ民有ノモノヲ、民家ノ軒下カラ官有ニ編入シテ仕舞ッタト云フ例ナドガ澤山アルト云フコトハ、先達誰方カノ御問ニ對シテ御認メニナッタヤウデアリマシタガ、サウ云フヤウナ明カニ民有ノモノデアルト認メ得ベキモノガ、多少提起ノ期限ガ遅レテ、官有其儘ニナッテ居ルト云フモノハ、ソレヲ救済シテヤル方法ハアリハシナイカト思フノデアリマス、先達宮古君ノ質問ニ對シテ幾分御答ガアツタ様デアリマシタガ、十分聽取レマセヌデシタカラ、是等ニ對シテ何等カノ方法ヲ御持チニナッテ居ルカ、承リタイ

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今ノ前段トシテ御尋ノ下戻ノ法律ガ、期限附ノモノデアリマスカラ、其期限ヲ失シタ爲メニ、明カニ民有ノ證據ヲ持ッテ居ルモノモ、最早下戻ヲ願フコトガ出來ズシテ、損害ヲ受ケテ居ル者ガアルト云フ事ハ、事實アラウト思ハレマス、私共往々ニシテ其話ヲ聞クノデアリマス、併ナガラ其下戻法ト云フモノガ、ドウ云フ譯デ議

院ノ協賛ヲ經テ公布セラレタカト申シマス、實ハ下戻法ノ打切法ナンデス、地租ノ改正モ引續イテ、諸リ官民有ノ區別ナクテ出シタト云フ、之ハ數年來引續イテ政府ガヤッテ居タノデアリマス、併ナガラ何時マデモ官民有處分ノ爭ヲスル事ガ出來ル様ニナッテ居テハ、官有財産ノ整理ガ付カナイ、折角政府デ金ヲ入レテ色々ナ計畫ヲ立テ、モ、突然民有ノ爭ガ出テ來テ、ソレヲ下戻サナケレバナラヌト云フ事ニナルト、計畫ガ毀レテ仕舞ッテ、政府ガ餘程困ッタソコデ三十二年ニ下戻法ト云フ法律ヲ出シマシテ、民有下戻何年マデニ願出デロ、其以上ハ下戻サナイ、ソレヲ以テ打切ルト云フノデ下戻法ガ出タ譯デアリマス、サウ云フ順序デ出來タ法律デアリマスカ

ヲ、ソレヲ又今日ニ至ッテ下戻ヲスルト云フヤウナ方  
法ヲ執ルト云フコトハ、ドウシテモソレハ出來ナイ、  
國有財産ノ森林財産ガ、絶對ニ計畫ガ毀レヤウガド  
ウナラウガ構ハナイト云フコトナラバ、ソレハ別問  
題デザイマスガ、兎ニ角數年來下戻ヲスル途ヲ開キ、  
下戻ノ法律ヲ出シテ、今度ハ何年以後ハイカヌゾト  
云フコトマデモ指定シテ居ル、ソレデモ其期限内ニ  
下戻ヲ願ッテ來ナイト云フコトハ、最早權利ヲ放棄シ  
タモノト見テ、今日後ハ戻ッテ又下戻ノ手續ヲスルト  
云フコトハ出來ナイ、斯ウ見テ居ル譯デス、併ナガラ  
前回ニモ申上ゲマシタ通り、現ニ殊ニ偏僻ナ地方ナ  
ドニ參リマス、法律ノ事モ知ラナカッタ者モゴザイ  
マス、又初メ願ッテモ、農商務省デ下戻スコトハナラ  
スト云フ、一旦指令ヲシテ仕舞フト、御役所ノ裁判ニ  
屈服シテ、其以上爭ハナイヤウナ柔順ナ村ナドモアッ  
タニ違ヒナイ、所ガ偶々何處迄モ爭ッテ者ハ、裁判所  
ニ行ッテ勝利ヲ得テ民有ニナッテ、柔順ニ屈服シタ者  
ハ下戻ヲ受ケルコトガ出來ナカッタト云フヤウナ、洵  
ニ氣ノ毒ナ例ナドモアル、サウデアリマスケレドモ、  
之ヲ何時マデモ句切リノ付カヌヤウニシテ置クナラ  
バ別問題デゴザイマスケレドモ、前申上ゲマシタ通  
リ、何處カデ句切リヲ付ケナケレバナラストスレバ、  
偶ニハ氣ノ毒ノ例ガアッテモ、據ロナイト覺悟シナケ  
レバナラヌ、國家ガ官有財産ヲ整理スルニハ、之ヲ以  
テ打切ルヤウニシナケレバナラスト覺悟シテ居ルノ  
デアリマス、併ナガラ或ル地方ハ、山林ナドノ關係ニ  
於テ、今日ハ隨分氣ノ毒ナ例ガ往々アル、殊ニ其下戻  
ヲ願ッテ下戻ヲサレナカッタト云フ氣ノ毒ノ例ハ、比  
較的多イヤウ認メルノデアリマス、先日モ申上ゲマ  
ス通り、或ル村或ル部落ニナリマス、自分ノ軒下カ  
ラ皆官有地デアアル、サウシテ法律ノ正面カラ見ルト、  
茸ヲ一ツ取ル譯ニ行カズ、栗ヲ拾フコトモ出來ナイ、  
無論薪炭材ヲ取ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ  
事ニナッテ居リマシテ、本當ニ八釜シク言フト、皆犯  
罪者ト云フ事ニナル、是デハ甚ダ面白クナイ、殊ニサ  
ウ云フ犯罪處分ヲスル結果トシテ、其山林ト部落ト  
ノ間ニ恨ヲ買フヤウナ敵味方ノヤウニナッテ、森林ナ  
ドヲ深切ニ愛護スル氣分ガ薄ライデ來ル、是ハ甚ダ

遺憾ナ事デアアル、國家ノ爲メニモ非常ナ損害、偶々盜  
伐スル者ガアッテモ、知ラヌ顏シテ居ル、野火ガ出デ  
テモ、消サウトモシナイト云フヤウニ、恨ミ重ナル結  
果サウ云フ事ニナル、其等ノ事ヲ甚ダ遺憾ト思ヒマ  
シテ、今日ノ法律ノ範圍内ニ於キマシテ、出來ルダケ  
サウ云フ不祥ナ事ノ無イヤウニ、所在地ノ部落ト山  
林トノ間ノ關係ヲ、極ク親切ニ、密接ニ結び付ケル方  
法ハ、ドウシタラ宜カラウカト云フ事デ、色々研究致  
シマシタ結果、今日ノ法律ニ委託林ニ關スル規則ガ  
アルノデアリマス、此委託林ノ規則ヲ活用致シマス  
ト、餘程其邊ノ關係ヲ緩メルコトガ出來ル、即チ先日  
モ申上ゲルヤウニ、自家用ノ薪炭材ノ如キハ、無論無  
料デ之ヲ下付スルコトガ出來、芝草或ハ其他ノ山林  
ノ副産物ノ如キ物モ、無論下付スルコトガ出來ル、或  
ハ枯損木デアルトカ、官行事業等ニ於テ伐ッタ木ノ末  
木デアルトカ云フ物モ、下付スルコトガ出來ルト云  
フヤウナ、村ノ爲ニ餘程便宜ヲ與ヘル途ガ開ケテ居  
ルノデアリマス、併ナガラ是ハ今日マデ殆ド實施  
サレズニ居ル、規則ノ上ニ於テハ出來ル事ニナッテ居  
ルガ、ヤッテ居リマセヌカラ、之ヲ今度進ンデ此規則  
ヲ應用スルコトニ致シマシテ、殊ニ村ナドノ事情ニ  
於テ、ドウシテモ薪炭材ヲヤラナケレバナラヌ、又與  
ヘルコトガ其山林ト村トノ關係ヲ密接スル事ニ於テ  
必要デアルト云フモノニハ、役所カラ進ンデ適用ス  
ル、其村ニ其山林ヲ委託シマシテ、尤モ委託ト申  
シマシテモ、相當義務ヲ負擔セシメナケレバナラヌ、  
即チ其山林ニ就テ、監督保護ノ任務ヲ其村デ執ッテ  
貰フ、盜伐デアルトカ、野火デアルトカ云フコトニ就  
テ、其村ニ注意シテ貰フト云フヤウナ責任ハ負ハセ  
マスケレドモ、其責任ノ下ニ、今申上ゲタヤウナ利益  
ヲ村ニモ及ボシテ、サウシテ山林ト村トノ緣故ヲ結  
ビ付ケタイト云フ考ヲ持ッテ居ル、ソレヲ致シマシタ  
ナラバ、無論十分デハゴザイマスマイケレドモ、今  
日私共愛ヒテ居リマスヤウナ、山林ト村トノ間モ、恨  
ヲ結ブヤウナ關係ガ無クナッテ來ハセヌカト考ヘテ  
居ルノデアリマス

○清水市太郎君 農商務次官ノ詳細ナ御説明ヲ承リ  
マシテ、大ニ常識アル處置ト存ジテ、結構ナ事ト思ヒ  
マスガ、只今ノ御話中ニハ、枯損木デアルトカ、末木、  
萩、茸ノ類ハヤルコトニスルト云フコトデアリマス  
ガ、地租改正ノ際ニ、民有ノ物ヲ官有ニナサル時ニ、  
政府又ハ縣廳カラ行ッテ屬僚ノ人達ガ、民有ノ物ト云  
フコトガ慣行上分明ニ分ッテ居ル物モ、説諭ヲシテ、  
是ハオ前達、官有ニシテ置ケバ納税ノ義務ヲ免レル、  
而シテ伐採等ノ慣行ハ、從前ノ通りニ利益ヲ受ケル  
コトガ出來ル、即チ利益ハ從來ノ通りニナッテ、納税  
ノ義務ハ免レルコトニナルノデアアルカラ、是レ位結  
構ナ事ハ無イ、實ニ政府ノ御仁政ト云フモノデアアル  
カラ有難ク御承ケラシテ、速カニ官有林ニ編入スル  
事ヲ承諾シタラ宜カラウト云フ事ヲ説諭ヲシテ歩キ  
マシテ、サウシテ山間僻地ノ朴訥ナ人間ハ、其官吏ノ  
言フ通り、從來民有林デ、自分ノ檐下デ自由ニ伐採  
シテ居ッタ物ヲ、其儘甘シテ官有ニシタ、ソレニモ拘  
ラズ、一旦官有ニナッテ見ルト、木一本採ッテモ、菌ヲ  
採ッテモ、盜伐ダトカ、侵害ダトカ云フ事デ、告訴ナド  
ヲヤラレルト云フ有様ニナッテシマッタ、實ニ容易ナ  
ラス事デアアル、露骨ニ申セバ當時ノ官吏ノ遣リ方ハ  
詐欺ヲ以テ民有ノ物ヲ官有ニシテシマッタト云フ事  
實ガアルノデゴザイマスカラ、是等ハ餘程恩典ニ浴  
スルヤウニ御計ヒテ願ヒタイト思フ、枯損木、末木ト  
云フコトモ結構デアアルガ、只今申サユウナ次第デア  
リマスカラ、白木稼木等モ許サレルノガ、尙ホ一層常  
識アル御處置デハナイカト思ヒマスガ、其邊ノ御意  
嚮ハドンナモノデアリマスカ

○田中政府委員 御答致シマス、段々事實ニ基イテ  
ノ御尋デゴザイマス、無論サウ云フ事實ノアル事ヲ  
清水君ニ於テモ證據ノ上ニ於テ御認メノ上、御尋ネ  
ト思ハレマス、多分或ル處、或ル場所ニハ、サウ云フ  
事モアラウト思フノデアリマス、役人ニ欺カレテ假  
ニ官有地ニシテ置イタト云フ様ナ者ハ、村ノ方ガ餘  
程正直ナノデスガ、私共ノ承ッテ居リマス所デハ、却  
テ村ノ方ガズルクテ自分カラ官有ニシテ置ケバ、税  
モ何モ出サズニ濟ム、サウシテ村ノ物トシテ勝手ニ  
採ルコトガ出來ルト考ヘテ、自分ノ方カラ先廻リシ  
テ官有ニ編入シテ居ッタモノモアルト云フコトヲ聞  
イテ居リマス、現ニ私共ノ郷里ナドデモ、實際言ウテ

居ルノデアリマス、其原因ヲ問フテ見レバ、過ッテ民有タルベキ物ヲ官有ニシタト云フ事モ、廣イ世界デアリマスカラ、アルニ相違ナイ、併ナガラ結局スル所、今日デハ證據裁判ニナルノデアリマスカラ、數々ノ證據ヲ並ベテ農商務省ヘモ願ッテ來マスケレドモ、ドウモ證據ノ解釋ニ就テ爭ガ起ッテ農商務省ノ關門ガ通レナイ、又行政裁判所マデ出テモ、行政裁判所モ認メナイト云フ事ガアリマス、又ドウモ此裁判事ハ甚ダ六ヶシイ者デ、先程來段々御質問應答ヲ伺ッテ居リマシタガ、社寺境内ナドノ事ニ就キマシテモ、行政裁判所自身ガ今迄ハ矢張農商務省其他ノ解釋ト同ジ解釋ヲ取ッテ、社寺境内ト云フモノハ、先ヅ原則トシテ官有物デアルト云フ解釋ヲ取ッテ居ッテ、其行政裁判所ガ最近ノ例ニ依ルト、反對ノ證據無キ限り、社寺境内ト云フモノハ民有地デアルト裁判スルヤウニナッテ來タ、行政裁判所ト云フ偉キ法律家ガ、日本ノ最高ノ行政處分ニ就テ、判斷スル裁判所自身ガ、曩ニハ官有デアリト言ヒ、後ニハ民有デアルト言ッテ、官有民有ヲ引ッ繰リ返ヘス程六ヶシイ問題デアリマス、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、ドウシテモ是ハ政府ノ處分ニ對シテ不幸ヲ歎ク者ガ、善後ノ處分等ニ對シテ不平ヲ訴ヘルト云フヤウナ事ハ、已ムヲ得ナイ事デ、如何ニモ御氣ノ毒ニ思ッテ居リマス、而シテ先程申上ゲマシタ今日ノ法令ニ於テ出來得ル事ガ、村ノ爲メニ便宜ヲ計ルト云フ點ニ付テハ、段段申上ゲマシタガ、而シテ其規則更ニ進メテ枯損木トカ末木トカ云フ物ノミナラズ、或ハ其根本タル木材ノ幾分カニモ恩典ヲ及ボス様ナ事ニ出來ナイカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ實ハ只今ノ所何トモ御答ノ致方ハアリマセヌ、併ナガラ其等ノ規則ハ勅令ニ依ッテ定メラレテ居ルノデアリマスカラ、或ル場合、或ル事情ノ下ニ、及ボスベキ恩典ノ範圍ヲ或ル程度マデ制限スルト云フ事ハ、勅令ノ改廢ニ依リテ出來得ル事ニナッテ居リマス、併シ只今ノ勅令ハ、先刻申上ゲマシタダケノ範圍ニ限ラレテ居ル譯デアリマス、段々御話ノ事ハ、篤ト今後ノ參考ノ爲メニ伺ッテ置クコトニ致シマス

マシタガ、村ヘ下ゲルト云フヤウナ御話デアルガ、個人ノモノガ其利益ヲ受ケルヤウニ、村ヘ委託ト個人ヘ委託トカ云フ、兩方委託セラル、ノデアリマスカ  
○田中政府委員 御答致シマスガ、村ト部落ニ今日ニ於テハ限ラレテ居リマスガ、個人ト云フコトニナリマスト云フト、ドウシテモドウモ取締リガ付カヌノデゴザイマス、ソレカラ又大體其委託ヲスル法律上ノ根本義ハ、全體ノ管理監督ト云フ事ニアルノデアリマスカラシテ、矢張村ト部落トカ云フ廣イ範圍ノ意味ニ於テ、其等ノ防火ニ就テ努メルトカ、或ハ盜伐ニ就テ監督スルト云フコトヲ、村ノ者ガ皆デヤッテ吳レル、村ノ者ガ總テデヤッテ吳レルト云フコトデナケレバ、趣意ガ徹底致シマセヌ譯デアリマス、又滅多ニ無イト云フコトデアリマススケレドモ、個人ニヤラセルト云フコトニナリマスレバ、實質ノ上ニ於テ屈カヌ點モアリマセウシ、又ソレヲサウ云フ利益ヲ個人ニ與ヘルト云フコトニ致シマスルト云フト、弊害等ノ起ラスニモ限ラスノデアリマス、個人デハ甚ダ困難ヲ致シマス、今日デハ全ク一村カ或ハ一ノ村内ノ部落トカニ限ッテ居ルノデアリマス  
○清水市太郎君 度々御起チテ願フノハ恐入リマスカラ、今度ハ二ツ三ツ伺ヒタイ事ヲ一緒ニ申上ゲテ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今ノ村又ハ部落ニ限ッテサウ云フ恩典ヲ受ケルヤウニナッテ居ルト云フコトデアリマスガ、唯ダ私ノ心配シマスルノハ、個人ノ森林ヤ原野デアルトカ、其個人ノ物ガ官有ニナッテ居ル場合ニ、只今ノヤウナ恩典ヲ受ケル事ニ——其個人ノ物デアッタ爲メニ村ガ恩典ヲ受ケテ居ル、個人ガ自分ノ物ガ官有ニナッテ居ルカラ、自分ダケガ受ケルト云フヤウナコトガアルト、折角ノ恩典ガ當ノ受ケベキ本人ガ受ケヌデ、他ノ者ガ却テ利益ヲ受ケテ仕舞フヤウナ事ガアリハシナカト云フ虞ガアル、此點ハ如何ナモノデアアルカト云フコトヲ第一ニ伺ヒマス、ソレカラ其下戻法ガ明治三十二年ニ出マシテ、三十二年ノ下戻法ト云フモノハ、政府デハ此人民ノ物ヲ下戻スト云フコトヲ打切りニスル爲メニ、即チ是デ時効ニ罹ッテ仕舞フト云フ御趣意デ出來タモノデアリマス、否ラザレバ政府トシテ官營デヤル計

畫ヲ立テル上ニ於テモ洵ニ不便デアルトカ、或ハ困難ナモノデアアルカラ打切りタイト、斯ウ云フ事デアリマスガ、三十二年ノ下戻法ハ、確カ一年ノ期限デ、其期限内ニ出願ヲ農商務省迄シナイ者ハ、モウ其後ハ出願ガ出來ナイト居フコトデ、間違ッテ居レバ二年デアアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ事デアッテ此種類ノ問題ハ、何レモ數十年數百年ノ證據物ガ證據ニナルノデアリマス、サウ云フ物ヲ行政裁判所ヤ農商務省ヘ提供セネバナラヌノデアリマス、サウ云フ古證文ノ證據ヲ蒐メルト云フコトハ、甚ダ困難ナル事情デアリマス、容易ニハ集ラナイノミナラズ、費用ヲ掛ケテヤラナケレバナラヌト云フコトモアル、百姓ヤ山間ノ樵夫ガ、中々サウ云フ書類ヲ何處ニアルトカドウシタ物デアルトカ、調ベテ持ッテ來ルコトモ困難デアアルノミナラズ、費用ノ點ニ於テモ、人ヲ頼ンデヤッタト云フコトニナレバ、時間モ掛リ、費用モ大變掛カル、ソレカラ此蒐集ニ困難ナル爲メニ、一年二年ハ何ノコト無シニ經ッシマウト云フノデ常ニ期限ノ下戻法ニ依テ與ヘラレタ期限費用デ足ラナイ、一年ナント云フ短期ニハ、到底折角ノ思召ニ適フヤウニ請願モ何モヨウ持出セヌヤウナコトニ終ッテ居ルノデアリマス、故ニ斯ウ云フ種類ノ問題ハ、最初ニ御定メニナッタ下戻法ノ期限ハ短カ過ギマスカラ、之ヲ今暫ク期限ヲ延バサレテ、サウシテ元々人民ノ物デアッタモノヲ國ガ取ッテ、期限ガ來タカラヤラナイト云フコトガ、法律ノ所謂公正ニ反シタ事デアアルカラ、國家ガ一體時効ナンカラ主張シテ、人民ノ物ヲ取ッテシマウト云フコトハ、甚ダ私ハ怪シカラス事デアアルト實ハ思フノデス、サウ云フコトデアリマスルカラ特ニ政府ト云フモノガ公正ヲ重ゼラル、御趣意、國家トシテ人民ヲ愛スル御趣意カラ此期間ヲ延バサレテ、更ニ法律ヲ更ヘテ、サウシテ此ハ時効ヲ緩メテ、今度限リデ今マデ永年研究モシタコトデアリマスカラ、今度ハモウ是ガ本當ニ御仕終ヒデアルト云フコトデ、今一度時効ヲ緩メテ、下戻ノ申請ヲ許スダケノ寛大ナ雅量ヲ御持チニナルコトガ出來ナイカト云フコトガ第二點、ソレカラ第三點ニハ、先刻行政裁判所ノ判決ト雖モ、證據物ノ效力ニ就テ段々判

決ハ變テ來テ居ル、ソレデアアルカラシテ餘程困難ノ問題デ、何レヲ何レトモ定メ兼ネルト云フ御趣意モアリマシテ、行政裁判所ノ判決ガ如何ニ其類例ガアツテモ、ソレヲ以テ其他ヲ處分スルコトガ、出來兼ネルヤウナ御趣意ニ承ツタノデアリマス、是ハ行政裁判所ガ追々進歩變遷ガアルヤウニ思ハレマシテ、最初ノ事ハ申スマデモナク御承知ノコトデアラウト思ハレマスガ、以前ハ行政裁判所ト云フモノハ、モウ御役所ノ方ヲ勝タセルニ極ツテ居タ、所謂普天ノ下王土ニ非ザルハナシ、率土ノ民王臣ニ非ザルハナシト云フヤウナ言葉ヲ書經カ何カデ聞イテ居リマスガ、官尊民卑ノ極端ナ時代ニ於テハ、一切人民ノ言フコトガ相立タズ、判決ハ行政裁判所デハ總テ御役所ガ勝ツニ極ツテ居タ、ソレカラ稍々進ンデ證據調ニ依テ、十二ツカ百ニ一ツ人民ハ勝タレト云フヤウナコトニナツテ來タ、サウ云フ時代ニ御朱印地トカ證文ニ依ツテ見レバ、成程大名カラ寺院トカ社寺ニ吳レタモノデアアル、其證文ガ有ル以上ハ初メテ勝テルト云フコトニナツテ、更ニソレガモウ一段行政裁判所ガ進歩致シマシテ、今度ハ御朱印地ト言ヘバ即チ貫ツタコトガ明カニナツテ居ルノデアアルカラ、即チ人民ノ物トスルハ云フヤウナ風ニナツテ進歩發達シテ來タモノデアリナカト思フノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ此行政裁判所ノ判決ガ區々ニナツテ居ルナバ、最近ノ判決ヲ是ナリトセラレテ、サウシテ此行政裁判所ハ最高ノモノデアリマスカラ、此裁判所ノヤツタ判決デ人民ノ物ナリトシタコトハ、假令裁判所ニ持出サズトモ、其判決例ト同ジ性質ノ事件ノモノハ、裁判所ニ持出サナカッタモノト雖モ、行政處分トシテ、此ノ判決例ニ從ツテ御下デニナル意思ガナイカト云フコト、ソレカラモウ一ツ終リニ御尋シタイ事ハ、此拂下ノコトデゴザイマスガ、國有財産法ニ依リマスルト、其第四條ニ國有財産ハ雜種財産ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又之ニ私權ヲ設定スルコトヲ得ス」トアリマシテ、雜種財産ノミ拂下ゲルコトニナツテ居リマス、而シテ其雜種財産ト云フノヲ見マス、第二條ノ「前各號ニ屬セサルモノ」トデアツテ、第二條第三ノ營林財産ハ拂下ゲルコトガ出來ヌヤウニ思フ、營林財

産ノ中ニ、矢張民有ノ證ノ確實ナルモノガ澤山アル、或ハ今ノ行政裁判所ノ判決例ニ之ルト、是ハ民有ノモノニ違ヒナイト云フ判決例ノアルモノガアル、假令營林財産ナリト雖モ、民有ノ證確實ナルモノニ限ツテ、第一條ノ除外例トシテ、雜種財産ニアラザルモノト雖モ、拂下ゲルコトガ出來ルヤウニ、公正ヲ保ツ爲メニ御訂正ヲ願フコトハ出來マイカト云フコト、ソレカラ只今ノ問題ニ伴ヒマシテ、同ジヤウナ事デアリマスガ、國有林野法ノ第八條ハ、今回御提案ノ此國有財産法ニ依レバ、效力ヲ失ハナイ、矢張活キテ居ル方ノ部分デアアル、此第八條ノ四號ノ「命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ緣故アル林野ヲ其ノ緣故アル者ニ賣拂フトキ」ニ隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得タル、此隨意契約ノ命令ナルモノヲ承ルト、不要存置林ノ命令ノヤウニアル、不要存置林デナシト雖モ、只今ノ趣意ト同様ニ、要存置林トナツテ居テモ、民有ノ確實ナル證アルモノ、又ハ行政裁判所ノ判決ヲシテ、サウシテ民有ノモノト云フ判決例ノアル同性質ノモノハ、不要存置林ニアラズト雖モ、要存置林ト雖モ、特別ノ緣故アル者ニ賣拂フト云フ雅量ヲ有セラル、ヤ否ヤ、此點デアリマスガ、ドウカ常識アル農商務次官ハ、常識アル御答辯ヲ與ヘラレンコトヲ望ムノデアリマス

決ハ變テ來テ居ル、ソレデアアルカラシテ餘程困難ノ問題デ、何レヲ何レトモ定メ兼ネルト云フ御趣意モアリマシテ、行政裁判所ノ判決ガ如何ニ其類例ガアツテモ、ソレヲ以テ其他ヲ處分スルコトガ、出來兼ネルヤウナ御趣意ニ承ツタノデアリマス、是ハ行政裁判所ガ追々進歩變遷ガアルヤウニ思ハレマシテ、最初ノ事ハ申スマデモナク御承知ノコトデアラウト思ハレマスガ、以前ハ行政裁判所ト云フモノハ、モウ御役所ノ方ヲ勝タセルニ極ツテ居タ、所謂普天ノ下王土ニ非ザルハナシ、率土ノ民王臣ニ非ザルハナシト云フヤウナ言葉ヲ書經カ何カデ聞イテ居リマスガ、官尊民卑ノ極端ナ時代ニ於テハ、一切人民ノ言フコトガ相立タズ、判決ハ行政裁判所デハ總テ御役所ガ勝ツニ極ツテ居タ、ソレカラ稍々進ンデ證據調ニ依テ、十二ツカ百ニ一ツ人民ハ勝タレト云フヤウナコトニナツテ來タ、サウ云フ時代ニ御朱印地トカ證文ニ依ツテ見レバ、成程大名カラ寺院トカ社寺ニ吳レタモノデアアル、其證文ガ有ル以上ハ初メテ勝テルト云フコトニナツテ、更ニソレガモウ一段行政裁判所ガ進歩致シマシテ、今度ハ御朱印地ト言ヘバ即チ貫ツタコトガ明カニナツテ居ルノデアアルカラ、即チ人民ノ物トスルハ云フヤウナ風ニナツテ進歩發達シテ來タモノデアリナカト思フノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ此行政裁判所ノ判決ガ區々ニナツテ居ルナバ、最近ノ判決ヲ是ナリトセラレテ、サウシテ此行政裁判所ハ最高ノモノデアリマスカラ、此裁判所ノヤツタ判決デ人民ノ物ナリトシタコトハ、假令裁判所ニ持出サズトモ、其判決例ト同ジ性質ノ事件ノモノハ、裁判所ニ持出サナカッタモノト雖モ、行政處分トシテ、此ノ判決例ニ從ツテ御下デニナル意思ガナイカト云フコト、ソレカラモウ一ツ終リニ御尋シタイ事ハ、此拂下ノコトデゴザイマスガ、國有財産法ニ依リマスルト、其第四條ニ國有財産ハ雜種財産ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又之ニ私權ヲ設定スルコトヲ得ス」トアリマシテ、雜種財産ノミ拂下ゲルコトニナツテ居リマス、而シテ其雜種財産ト云フノヲ見マス、第二條ノ「前各號ニ屬セサルモノ」トデアツテ、第二條第三ノ營林財産ハ拂下ゲルコトガ出來ヌヤウニ思フ、營林財

○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、大分色々ノ數ニ涉ツテ御尋デ、落テルカモ知レマセマスガ、漏レタ所ハ又後デ御注意ヲ願ヒマス、今御尋ノ事ヲ引繰返シニ御答ヲ致シマスガ、林野法ノ第八條ニアリマスル規定ハ、是ハ左ノ場合ニ限ツテ隨意契約ヲ以テ、國有林野ヲ賣拂フコトガ出來ル、一體言フト隨意契約ハ出來ナイノデ、皆ソレト、會計法規ニ依テ、公賣ヲシナケレバナラス——政府ノ財産ヲ賣拂フトキニハ、公賣ヲシナケレバナラスノデアリマスケレドモ、此場合ダケハ隨意契約デ賣拂ガ出來ルト云フ、唯ダ隨意契約ノ途ヲ開イタダケノ規定デアリマスルノデ、其後ニ列舉シテアリマスル事項ガ起レバ何時デモ其拂下ヲヤルト云フ意味デハナイノデアリマス、丁度只今御引例ニナツタ「命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ緣故アル林野ヲ其ノ緣故アル者ニ賣拂フトキ」ト

云フノハ緣故ガアレバ必ズ國有林野ヲ賣拂ツヤルト云フ意味デハナイノデ、先ツ賣拂フト云フコトガ前提トシテ決マツタ場合ニ、特別緣故ノアル者ガアレバ、其緣故アル者ニ賣ツテヤツテ宜シイト云フ規定デアリマスカラ、愈々賣拂フベキ場合ガ起リマシタトキニハ、只今御話ノ如キ、或ハ行政裁判所ニ於テ所有ノ權利確實ナラズトシテ、下戻ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナカッタ人ハ、矢張特別ナル緣故關係ガアツタト云フ理由ニ依ツテ、隨意契約デ拂下ヲ受ケル場合ガ起ラウトハ思ヒマスケレドモ、特別ナル緣故ガアレバ、政府ノ山林ヲドウシテモ拂下ゲルト云フ意味デアリナイノデ、拂下ガ決マツタ以後ノ手續ニナル譯デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ營林財産ト雜種財産トノ關係ハ、是ハ御心配ニ及バヌ事デアリマシテ、賣拂フベキ特殊ノ事情ガ起ツタ場合ニ、雜種財産ノ方ヘ移スノデアリマスカラ、一旦營林財産ト決マレバ、永久營林財産ト云フ譯デハナイ、營林財産デアツテモ、營林財産以外ノトシテ處分シテ差支ナイノデアリマスカラ、營林財産ヲ賣却スル必要ガ起レバ、雜種財産ノ方ニ組入レテ處分スルコトニナルノデアリマス、ソレカラ段々裁判所ノ判決モ變テ來ルト云フ世ノ中デアアルノデ、最モ新シイ裁判所ノ判決ニ基イテ考ヘテ見レバ、ドウシテモ自己ノ權利ニ屬スベキ山林デアルト云フ場合ニ、其下戻ヲ要スヘルト云フ途ヲ開ク考ヘナイカト云フ御尋デアリマスガ、サウ云フ考ヘ持ツテ居リマセヌ、ソレヲスルト、何時迄モ官有財産ガ安定シナイ譯ニナラノデス、是カラ先キ永久ニ互ル裁判デアリマスカラ、將來裁判官ガドンナ裁判例ヲ開クカ分ラヌ、ソレヲ以前ノ判決ニ遡ツテ考ヘテ、ドウモ俺ノ裁判ヲ受ケタ時トハ違フト言ツテ、下戻ヲ願フト云フ事ニナツテハ、先以テ官有財産ヲ安定スル途ガ崩レテ來ル、安定ハ要ラヌ、民有ノ證據ガアルモノナラバ、イツ何時デモ遣ツタラ宜イデヤナイカト云フ御議論ハ、御議論トシテ承リマスルケレドモ、先ヅ政府ガ數十年執リ來ツテ居ル大體ノ方針カラハ、ドウシテモ或ル時期ニ於テ一ツ區切りヲ立テヌト、全體ノ森林ノ經營ト云フモノガ六ケシイ、ソレ故ニ其御註文ハ、只今ノ所デ



ハ政府ハ考ヘテ居リマセス、ソレカラ最初ノ下戻法  
ノ期限ハ、僅ニ一年ソコ、デアッテ、甚ダ短期日デ  
アル、ソレガ爲メニ證據ノ蒐集ニ手間取レテ、ソレ  
ゾレ下戻ノ願モ出來ナカッタ云フ御話デアリマス  
ガ、是モ多分サウ云フヤウナ事ガ澤山アッタラウト思  
ハレマス、併ナガラ是ハ議論ノ上カラ申シマス、ド  
ウモ甚ダ六ヶセイ事ニナル、何トナレバ先程モ申  
上ゲマスルガ如ク、三十二年ニ下戻法ガ出タ爲メニ、  
初メテ下戻ガ願ヘルコトニナッタノデハナイノデア  
ル、地租改正ノ時カラ數十年來下戻ハ願ヘルノデア  
ル、而モ其地租改正以後引續イテ農商務省カラモ訓  
令デアリマスルトカ、省令デアリマスルトカ云フ  
ヤウナ、詰リ一種ノ下戻ニ關スル規則ノ出タコトガ  
數回アルノデアリマス、其中殊ニ世間ニ知ラレテ居  
リマスノハ、明治二十三年ノ訓令デアリマス、或  
ハ三十年ノ訓令第二十三號、同三十年ノ省令十三號  
ガ、下戻ニ關係アル法規ノ主ナルモノトシテ知ラレ  
テ居ル譯デアリマス、其他ニモアルノデアリマス、  
詰リ下戻手續ハズト長イ間世間ニ知ラレテ、ソレニ  
基イテ下戻ヲ矢張引直スト云フコトヲヤッタアッタノ  
デアリデス、三十二年ノハ唯打切ルダケノ法律ト云ッ  
テモ宜イヤウナ意味合ニナッテ居リマスカラ、下戻ノ  
期限ガ短カカッタ云フコトハ、少シ一方カラ言フト  
酷ノ議論ニナル、短イトハ見ラレヌノデモアリマ  
セスガ、前カラ續イテ居ッタモノトスルト、決シテ短  
イ譯デモ何デモナイト云フ議論ニナルノデアリマシ  
テ、ドウモ是ハ餘程見方デアリマス、全ク突然此短イ  
規則ガ出テ、ソレデ過ギタラモウイケナカッタノトハ  
少シ意味ガ違ヒマスカラシテ、是モ御満足デナカラ  
ウト思ヒマスルケレドモ、趣旨ダケハ一ツ酌取ッテ戴  
カナケレバナラナイト思ヒマス、ソレカラ委託林ノ  
制度ヲ個人ニモ及ボシテハドウカト云フ御註文デゴ  
ザイマスガ、ソレハ先刻モ申上ゲマスル通り、ドウモ  
個人ニ及ボスト云フコトハ、取締ノ上カラモ、實施  
ノ上カラモ、ドウシテモ出來ナイ、尤モ清水君ノ御  
尋ノ趣旨ハ、何カ所謂下戻ノ權利ト關係シテ、委託林  
ノ事ノ適用ヲ希望セラル、ヤウナ御話デアリマスル  
ガ、是ハ全ク其趣意ガ違フノデアリマス、全ク其委

託ヲ受ケテ其山林ヲ保護スル、保管スルト云フ義務  
ニ對シテ、特殊ノ利益ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニナッ  
テ居ルノデアリマス、元ト其山林ノ權利ガ有ルトカ  
無イトカ云フコトハ、意味ガ違フノデアリマス、併  
シ私ノ申上ゲタノハ、此法律ヲ出來ルダケ活用スル  
コトニスレバ、即チソノ人ノ軒先カラ官林デアッテ  
迷惑ヲシテ居ルト云フヤウナ村ガ數々アル場合ニ、  
非常ナ恩典ガ及ブ、兩方ノ間ノ關係ガ圓滿ニナル、又  
村トシテ或ハ部落トシテ下戻ヲ願フタカ、願出デテ  
アルトカ云フ人ニモ、無論及ブノデアラウト思ヒマ  
スケレドモ、全クノ個人デハドウモコノ規則ヲ適用  
ノ仕方ガナイノデアリマス、ソレダケ御答ヲ致シマ  
ス

デ官有ニナッテ居ルモノガ、今申シタヤウナ御計ヒヲ  
個人ガ受ケルコトガ出來レバ、餘程救済サレルコト  
ニナル、サウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカ  
ラ時効ノ問題デアリマシテ、三十二年ニ下戻法ガ出  
テ、其時ハ短期ノ一年間ト云フヤウニ見エルガ、併  
ガラ明治二十三年訓令二十三號、明治三十年省令十  
三號ト云フヤウナ風ニ出テ、漸次下戻ノ事ニ就テハ  
人民ガ注意シテ、證據物ヲ蒐集メルト云フ事ガアッ  
タ筈デアル、斯ウ云フ事デアリマスガ、從來行政處分デ  
下戻ガアッタ事ハ殆ド數ガ少イ——無イト云フ工合  
ノモノデハナイカト思ヒマス、裁判所デモ敗カサレ  
ルコトガ多イデスガ、農商務省ヘ出願シタ者ハ、詮議  
ニ及ビ難シト云フノガ殆ド常例ノヤウデアッテ、二十  
三年ノ訓令ガ出テモ、三十年ノ省令ガ出テモ、其省令  
ナリ訓令ノ恩典ニ浴シテ、十分權利ヲ伸長スルコト  
ヲ得タ者ガ果シテ幾人アリヤト云フヤウナ譯デハナ  
イカト思ヒマス、到底是ハ省令ガ出テモ、訓令ガ出  
テモ、仕方ガナイモノデアアル下戻ヲ受ケルコトガ殆  
ド絶對絶命ノモノデアアルト云フヤウナ風ニ思ッテ居  
タトキニ、下戻法ガ出テモ、亦從來ノヤウナ筆法デ  
持ッテ行ケバ詮議ニ及ビ難シト云フ、私共モ一二件持  
出シマシタガ、皆詮議ニ及ビ難シデアル、今日ノ御  
役所ノヤウニ常識ノアル者ガ揃ッテ居ラレタナラバ、  
幸福ノ結果ヲ得ラレルコトガ出來ルト確信致シマス  
ガ、今ヨリ二十年モ三十年モ前ノ事デアリマス、斯  
シナ大キイモノヲ下ゲルコトガ出來ナイト云フ、斯  
ウ云フヤウナ筆法デヤラレマシタ、色々ナ省令ヲ訓  
令ガ出テモ、下戻ハシテ貰ヘヌモノト殆ド思ハレマ  
シタ、所ガ下戻ヲ願フテ、イカスケレバ更ニ行政裁判  
所ニ持出スコトモ出來ル、行政裁判所ニ於テモ、證據  
物ノ如何ニ依テハ、果シテ斯ウ云フ事モアルト云フ  
ヤウナコトヲ漸ク自覺スルニ至ッテ、初メテ自分ノ權  
利ヲ主張シタクナルヤウナ譯デアリマス、是ハドウ  
モ日本ノ政治ハ官尊民卑デアッタモノデアリマス  
ラ、サウ云フヤウナ事情ガアリマス、此大ニ進歩シ  
タ御役所デ、常識ノアル當局者ガ御起チニナッテ時  
ニ、人民ガ初メテ證據物ナリ權利ヲ主張スルコトノ  
出來ルト云フヤウニ、モウ一遍ヤッテ戴キタイ、是ヲ

○清水市太郎君 大凡御趣意ハ、諒解致シタガ、モウ  
少シ伺ヒタイ、只今ノ村トカ部落ニ限ッテ其恩典ニ浴  
スル事ハ行政裁判所ニデモ持出シテ權利ガアル、其  
權利ニ關聯シテト云フ意味デハナイガ、活用如何  
ニ依ッテハ村全體ノ者ヘモ及ブヤウナ譯ニナルカラ、  
相當ノ利益ヲ得ル事ガ出來ララウト云フヤウナ御  
説明デ、ソレデモウ結構デアリマスガ、併シ其個人  
ノ權利ト云フモノヲ主張スル者ガ利益ヲ受クルヤウ  
ニナッタナラバ、一層御趣意ガ徹底スルカト思ヒマ  
ス、初カラ御話ノ通りニ民家ノ軒下カラ官有ニ編入  
サレテ、從來ハ其軒下ノ所ハ其軒ノ所有者ガ、其家ノ  
個人ガ自分ノ物トシテ伐採ヤ手入ヲヤッテ居ッタ、サ  
ウ云フモノガ誤ッテ官有ニ編入サレテ、明カニ個人ノ  
物ヲ官有ニサレテ、從來慣行シ來ッタ事ガ出來ナクナ  
ッタト云フコトガ明カナル場合ニ、或ハ裁判所ニ敗ケ  
テモ、或ハ裁判所ニ持出サナクとも、期限ガ經過シテ  
其儘ニナッテ居ルト云フヤウナコトガ主トシテ起ル  
ベキ村ハ、其人ノ庇蔭デ却テ利益ヲ受ケルト云フノ  
ハ、本當ノ御主人ヨリハ其同村ノ者ガ受ケル、當ノ受  
クベキ人ガ受ケヌデ、受ケヌデモ宜イ方ノ人ガ受ケ  
ルヤウニナル、折角ノ思召ガ見當違ニナル憾ガアル、  
願クハ若シサウデナイナラサウデアアルヤウニシテ  
貰、ヌカト云フコトデ、行政裁判所デハ斯ウ云フモ  
ノデモ證據物ガ無イトカト云フコトデ敗カシタ事ガ  
アルケレドモ、實際自分ノ物デ、軒下迄アッタ民有地

デ官有ニナッテ居ルモノガ、今申シタヤウナ御計ヒヲ  
個人ガ受ケルコトガ出來レバ、餘程救済サレルコト  
ニナル、サウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカ  
ラ時効ノ問題デアリマシテ、三十二年ニ下戻法ガ出  
テ、其時ハ短期ノ一年間ト云フヤウニ見エルガ、併  
ガラ明治二十三年訓令二十三號、明治三十年省令十  
三號ト云フヤウナ風ニ出テ、漸次下戻ノ事ニ就テハ  
人民ガ注意シテ、證據物ヲ蒐集メルト云フ事ガアッ  
タ筈デアル、斯ウ云フ事デアリマスガ、從來行政處分デ  
下戻ガアッタ事ハ殆ド數ガ少イ——無イト云フ工合  
ノモノデハナイカト思ヒマス、裁判所デモ敗カサレ  
ルコトガ多イデスガ、農商務省ヘ出願シタ者ハ、詮議  
ニ及ビ難シト云フノガ殆ド常例ノヤウデアッテ、二十  
三年ノ訓令ガ出テモ、三十年ノ省令ガ出テモ、其省令  
ナリ訓令ノ恩典ニ浴シテ、十分權利ヲ伸長スルコト  
ヲ得タ者ガ果シテ幾人アリヤト云フヤウナ譯デハナ  
イカト思ヒマス、到底是ハ省令ガ出テモ、訓令ガ出  
テモ、仕方ガナイモノデアアル下戻ヲ受ケルコトガ殆  
ド絶對絶命ノモノデアアルト云フヤウナ風ニ思ッテ居  
タトキニ、下戻法ガ出テモ、亦從來ノヤウナ筆法デ  
持ッテ行ケバ詮議ニ及ビ難シト云フ、私共モ一二件持  
出シマシタガ、皆詮議ニ及ビ難シデアル、今日ノ御  
役所ノヤウニ常識ノアル者ガ揃ッテ居ラレタナラバ、  
幸福ノ結果ヲ得ラレルコトガ出來ルト確信致シマス  
ガ、今ヨリ二十年モ三十年モ前ノ事デアリマス、斯  
シナ大キイモノヲ下ゲルコトガ出來ナイト云フ、斯  
ウ云フヤウナ筆法デヤラレマシタ、色々ナ省令ヲ訓  
令ガ出テモ、下戻ハシテ貰ヘヌモノト殆ド思ハレマ  
シタ、所ガ下戻ヲ願フテ、イカスケレバ更ニ行政裁判  
所ニ持出スコトモ出來ル、行政裁判所ニ於テモ、證據  
物ノ如何ニ依テハ、果シテ斯ウ云フ事モアルト云フ  
ヤウナコトヲ漸ク自覺スルニ至ッテ、初メテ自分ノ權  
利ヲ主張シタクナルヤウナ譯デアリマス、是ハドウ  
モ日本ノ政治ハ官尊民卑デアッタモノデアリマス  
ラ、サウ云フヤウナ事情ガアリマス、此大ニ進歩シ  
タ御役所デ、常識ノアル當局者ガ御起チニナッテ時  
ニ、人民ガ初メテ證據物ナリ權利ヲ主張スルコトノ  
出來ルト云フヤウニ、モウ一遍ヤッテ戴キタイ、是ヲ

デ官有ニナッテ居ルモノガ、今申シタヤウナ御計ヒヲ  
個人ガ受ケルコトガ出來レバ、餘程救済サレルコト  
ニナル、サウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカ  
ラ時効ノ問題デアリマシテ、三十二年ニ下戻法ガ出  
テ、其時ハ短期ノ一年間ト云フヤウニ見エルガ、併  
ガラ明治二十三年訓令二十三號、明治三十年省令十  
三號ト云フヤウナ風ニ出テ、漸次下戻ノ事ニ就テハ  
人民ガ注意シテ、證據物ヲ蒐集メルト云フ事ガアッ  
タ筈デアル、斯ウ云フ事デアリマスガ、從來行政處分デ  
下戻ガアッタ事ハ殆ド數ガ少イ——無イト云フ工合  
ノモノデハナイカト思ヒマス、裁判所デモ敗カサレ  
ルコトガ多イデスガ、農商務省ヘ出願シタ者ハ、詮議  
ニ及ビ難シト云フノガ殆ド常例ノヤウデアッテ、二十  
三年ノ訓令ガ出テモ、三十年ノ省令ガ出テモ、其省令  
ナリ訓令ノ恩典ニ浴シテ、十分權利ヲ伸長スルコト  
ヲ得タ者ガ果シテ幾人アリヤト云フヤウナ譯デハナ  
イカト思ヒマス、到底是ハ省令ガ出テモ、訓令ガ出  
テモ、仕方ガナイモノデアアル下戻ヲ受ケルコトガ殆  
ド絶對絶命ノモノデアアルト云フヤウナ風ニ思ッテ居  
タトキニ、下戻法ガ出テモ、亦從來ノヤウナ筆法デ  
持ッテ行ケバ詮議ニ及ビ難シト云フ、私共モ一二件持  
出シマシタガ、皆詮議ニ及ビ難シデアル、今日ノ御  
役所ノヤウニ常識ノアル者ガ揃ッテ居ラレタナラバ、  
幸福ノ結果ヲ得ラレルコトガ出來ルト確信致シマス  
ガ、今ヨリ二十年モ三十年モ前ノ事デアリマス、斯  
シナ大キイモノヲ下ゲルコトガ出來ナイト云フ、斯  
ウ云フヤウナ筆法デヤラレマシタ、色々ナ省令ヲ訓  
令ガ出テモ、下戻ハシテ貰ヘヌモノト殆ド思ハレマ  
シタ、所ガ下戻ヲ願フテ、イカスケレバ更ニ行政裁判  
所ニ持出スコトモ出來ル、行政裁判所ニ於テモ、證據  
物ノ如何ニ依テハ、果シテ斯ウ云フ事モアルト云フ  
ヤウナコトヲ漸ク自覺スルニ至ッテ、初メテ自分ノ權  
利ヲ主張シタクナルヤウナ譯デアリマス、是ハドウ  
モ日本ノ政治ハ官尊民卑デアッタモノデアリマス  
ラ、サウ云フヤウナ事情ガアリマス、此大ニ進歩シ  
タ御役所デ、常識ノアル當局者ガ御起チニナッテ時  
ニ、人民ガ初メテ證據物ナリ權利ヲ主張スルコトノ  
出來ルト云フヤウニ、モウ一遍ヤッテ戴キタイ、是ヲ

打切リトシテモ満足スルコトが出来ナイ、ドウゾ今一度御再考ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレカラシテ拂下ノ事デアリマスルガ、御説明ニ依テ御趣意ノ在所ハ略ボ了解致シマシタガ、此國有林野法ノ第八條ノ第四號ハ、矢張拂下ヲ隨意契約ニ依ッテ拂下ゲルヤウナ事ガアツタ時ニ、緣故アル者ニ拂下ゲルノデア、斯ウ云フ事デ、何時デモ拂下ゲルト云フ意味デハナイト云フ御趣意デアリマスルガ、此命令ノ定ムル所ニ依ルト云フノハ、不要存置林ニ限ッテ特別ノ緣故アル林野ヲ賣拂フ時ニ、緣故アル者ニ賣拂フ、斯ウ云フヤウニナルト、不要存置林デナイノヲ拂下ゲヲ貰フト云フコトが出来ナイ、不要存置林ニアラズト雖モ、ソレヲ賣拂フ時ニ、緣故アル人ニ賣拂フト云フコトニシテ貰フト云フコトデアリマスガ、併ナガラ先刻ノ御説明ノ御趣旨ニ隨ッテ、不要存置林ヲ拂下ゲベキモノトシテ、不要存置林ノ方ニ組換ヘテヤルト云フコトが出来ルト云フコトナラバ、ソレデ宜イト思ヒマス、ソレデケノ點デアリマス

○田中政府委員 只今御尋ノ事ハ、大抵今ノ事デ盡キテ居ルト思ヒマスガ、極ク簡單ニモウ一遍御尋ノ要點ニ就テ申上ゲマスガ、其最後ノ御尋ノ事ハ、御尋ノ通りデアリマス、今日ノ只今ノ提案ニナッテ居ル法律ニ致シマシテモ、御心配ニナルヤウナ事ノゴザイマセヌ、必要ノ場合ニ於テハ、雜種財産ノ方ニ組換ヘマシテ、サウシテ處分スルト云フコトニナルノデアリマス、唯ダ併シ念ノ爲メニ御斷リシテ置キマスガ、此特別緣故アル者ガ緣故ガアルト云フ理由デ、必要ナル營林財産ガ不要存置林ノ方ニ、組換ヘルト云フ事ハ無イノデアリマス、不要存置林ニ組換ヘルト云フコトハナイ、特殊ノ場合ニ必要ナル場合ニ於テ、營林財産ヲ不要存置林ニ組換ヘルコトが出来ルト云フダケデアリマス、如何ナル場合ニ於テモ、不要存置林ニ組換ヘルカ、ソレハ、營林財産トシテ存置スル所ノ必要ノナイ場合ニ於テ、組換ヘルト云フ御答ヲスルヨリ外仕方ガナイ、特別ノ緣故アルトカ何トカ云フコトハ、關係無イ事ト御承知願ヒタイ、ソレカラ此下戻ノ事ハ、ドウモ清水君折十分御經驗デゴザイマセウガ、實ハ法律ハ如何ニシマシテモ、

大體其原告ト云フモノハ負ケルモノナンデス、日本ノ今日ノ制度ニ於テ、日本ノ法律ガ惡イノカ、所謂裁判官ノ常識ガ無イト云フ御言葉アルカモ知レマセヌガ、今度常識ノアルト云フヤウナ裁判制度ガ出來ルヤウナ法律ガ議會ニ出ルト云フ話デアリマスガ、ソレガ刑事ダケニ限ッテ、民事ニ適用サレストスレバ、矢張原告ハ大抵ノ場合ニ於テ負ケル、餘程ウマイ證據ヲ有ッテ居ルカ、餘程上手ナ辯論カ何カデ以テヤリマセヌケレバ、ドウモ原告ト云フモノハ負ケルノハ當然デアリマス、私共モ多年矢張法律關係ノ職務ヲ執ッタコトガアリマスガ、ドウモ駄目ダ、是ハドウモ已ムヲ得ナイコト、私共認メテ居リマス、ソレデ是ハ反對ニ又ドウモ政府ノ役人ガ下戻ヲ願ッテ吳レバ、先ヅ以テヤルト云フ譯ニ行カヌノデスナ、是ハ民有デナイイト云フ證據ノ無イ限リハ、民有ニヤルト云フ譯ニハ行カヌノデ、矢張民有タル證據ノアルモノハ、民有ニナル證據ガ無ケレバ官有ダト申シテ居ル譯デアアル、組換ヘルニハ今度ノ政府ノ方デ、何カ證據ヲ探シテ、民有デナイイト云フ證據ヲ認メナイ限リハ、民有デ證據ナキモノハ、民有ニナルト云フ度量ヲ示スト云フ事ハ、如何ナル政府ニ於テモ六ヶシイト思フ、其結果トシテ中ノ其證據ナドシッカリ備ヘテ居ルト云フコトハ少ナウゴザイマスカラ、本當ノ民有地デモ、ドウモ證據ノ無イ爲メニ恨ヲ吞ンデ、ドウモ屈服シナケレバナラヌヤウナ場合ガ往々ニシテアラウト思ヒマス、其點ハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスケレドモ、今日ノ法律制度全般ニ互ッテ、是ハ已ムヲ得ナイ事ト思ヒマス、ソレカラ此個人委託、——山林ヲ委託スルト云フコトハ、繰返シテ申上ゲマスル通り、ドウシテモ取締上カラ斯ウ云フ事ハ出來ナイ、併ナガラ個人ハ確ニ此委託林ニ依ッテ利益ヲ受ケル譯ニナリマス、自己ノ薪炭材ハ、自己トシテ個人トシテ採ルノデアアル、唯ダ併シ其材其部落ニ於テハ、自分ノミ採ッテ、他ノ村ノ人ニ薪炭材ヲ採ルコトヲ許サスト云フコトハ出來ナイ、他ノ村ノ人ハ、其薪炭材ヲ採レルト云フ譯ニナル、モトモ、此委託林規則ノ基礎ガ、下戻トカ其人ノ緣故關係トカト云フ意味デナシニ、其森林ヲ愛護シテ吳レルト云フニ對スル報

酬ト云フ意味デ出テ居ルノデゴザイマスカラ、村、部落トシテソレダケノ山林ヲ愛護シテ吳レル、ソレニ對スル報酬トシテ、只今申上ゲタ事ヲスルト云フヤウナ譯デアリマス、部落ト共ニ一同其恩惠ニ與カル、斯ウ云フ譯ニナルノデアリマス

○清水市太郎君 大變深切ニ何遍モ御答下サッテ、能ク了解シマシタガ

○委員長代理(宮古啓三郎君) 成ベク簡單ニ願ヒマス

○清水市太郎君 只今ノ終ヒノ事項問題デス、原告ト云フモノハ負ケルモノダト云フコトハ、今迄ハサウデアッタケレドモ、此常識アル當局者タル所ノ農商務次官、常識アル其他ノ御方ガ、能ク證據ヲ看テ見レバ、必ズ民有ノ物ダト云フコトガ御分リニナルト思フ、ソコデ一ツ御採用ニナッテ、今一度下戻法ト云フモノヲ期限ヲ緩メテ願ヒタイ、サウ云フ方ニ調ベテ貰ッテモ、原告ト云フモノハ申請人トシテ下戻ガ出來ナイカ、諦メテシマウカ、名醫ノ手ニ掛カラスデ死シテ往生サセタイ、政府當局者ニ於テモ此「ヂヤステイ」スレヲ人民ニ與ヘテ、公平ヲ保ツト云フ上カラ、國家ハ五十年ヤ百年ノモノデヤナイカラ、人民ノ願ヒ手ガアツテ、一年ノ間ニ證據ヲ持ッテ來ナカッタカラ、國家ノ物ダト云フ事ハ、是ハ辯護士句調デアッテ、國家トシテ執ルベキ態度デアアルマイト思フ、此點ハ意見ニナルカ知レマセヌガ、御採用ガ願ヒタイ、實際此法律ハ御互ヒ衆議院ハ通過シテ、貴族院ニ於テ握潰サレテ居ルガ、政府ノ賛成ヲ願ヒタイ、政府ノ御賛成ガアレバ、貴族院ニ於テハ喜ンデ通過サセルト云フ狀況ノヤウニアリマスカラ、是ハ一ツ人民ニ公正ヲ與ヘルト云フ意味デ、サウ云フ案ガ出タラ、政府委員ハ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ洵ニ大切ナ事柄デアルカラ、今一應御再考ノ餘地ハナイモノカ

○田中政府委員 何時モ御答シテ居リマスガ、逆モ問題ガ大キウゴザイマシテ、政府委員デハ御答シ兼ネル問題デアリマス、何レ折ヲ見テ國務大臣カラ御答スルコトニナラウト思ヒマスガ、唯ダ委員トシテ

内外ノ形勢、今迄ノ沿革等ヲズット調べテ見テ居リマス所デハ、到底是ハ政府ニ於テ同意シナイ問題ダト思ヒマス、併シ御趣意ノ在ル所ハ十分了解致シマシタカラ、大臣ニモ能ク趣意ヲ御傳ヘ申シテ置キマス、機會ヲ見テ大臣カラ御答致シマス

○委員長代理(宮古啓三郎君) 一寸野田君ニ伺ヒマ

スガ、今ノ續デスカ、或ハ別個ノデスカ

○野田文一郎君 多少關係ガアリマスガ、矢張訴訟

ノ事ニ關シテデアリマス

○委員長代理(宮古啓三郎君) 實ハ私モ質問致シタ

イト思フ、今ノ問題ニ就テ少シ——清水君一寸

〔委員長代理宮古啓三郎君退席委員長清水

市太郎君復席〕

○宮古啓三郎君 只今迄質問應答ノアリマシタ山林

處分問題ト云フ事ハ、餘程重大ナル問題デアリマス、

併ナガラ此問題ハ多年問題ト相成ツテ居ルノデアリ

マシテ、此度國有財産法ヲ拵エテ、國家ノ財産ヲ整理

スルト云フ今日ニ於テハ、此場合ニ併セテ解決スル

コトガ、最モ其時機ヲ得タルモノデアルト思ヒマ

ス、ソレ故ニ元來ガ民有デアッタ處ノ國有林野ヲ如

何ニスベキヤ、此度決スルガ至當ト思ヒマス、勿

論元來ガ國有デアッタ所ノ山林ニ就テハ、敢テ議論ハ

無イノデアアル、元來ガ民有デアッタ所ノ國有林野ガ、

誤ツテ國有林野ニ編入ニナツタモノガ澤山アル、其誤

タノハ、是ガ官有デナク、民有ノ山林デアッタノデア

ル、ソレガ誤ツテ今日官有ニナツテ居ルノデアアルカ

ラ、此財産法デ永遠ニ國有財産トスルコトハ、正義

ニ於テモ許サザル所デアアル、又政策ニ於テモ不得策

ト思フノデアリマス、ソレ故ニ此問題ニ對シテハ此

際解決スルト云フノガ吾々ノ希望デアリマス、故ニ

此問題ニ就テ清水君ノ質問ガアツタニモ拘ハラズ、私

ガ累ネテ質問致スノデアリマス、元來幕政時代カラ

ノ沿革ヲ見マスルト、幕政時代ニ於テハ、御林ナル

モノヲ定メマシテ、御林ノ外ノ林野ハ人民ニ委ネテ

アツテ、決シテ幕府若クハ各藩ニ於テ干涉シタモノデ

ハナイ、御林以外ノ山林ハ、人民ガ質入、書入、其他

木ヲ伐ラウトドウシヨウト、自由勝手デアツタ、ソレ

ニ利用スルコトガ出來タノデアアル、是ガ即チ生活ノ

根據ニナリ、生活ノ資源ニ成リ來ツタノデアアル、然ル

所明治政府ニナツテ誤ツテ國有ニ編入ニナツタ、

地租改正ノ當時、誤ツテ官有ニ編入シタ、ソレ以來、木

ヲ伐ルコトモ出來ズ、草ヲ刈ルコトモ出來ナイ事ニ

相成リマシタカラ、人民ハ幕府時代ノ有様デアツタ

ナラバ、生活ガ樂デアツタ所ノモノガ、今日ニ於テハ

動モスレバ盜伐ニ處セラレル、窃盜ニ處セラレル、從

テ生活ニ大ナル脅威ヲ來シタ結果ニ陥ツタノデアアル、

斯様ナ關係ノモノデアリマスカラ、元來ガ民有トシ

テ利用シ來ツタモノヲ、而カモ專制時代ノ幕政時代ニ

於テ、利用シ利益シ來ツタモノヲ、明治ノ時代ニ於テ

而モ既ニ「デモクラシー」ニナリマス時代ニ於テ、幕

政時代ニ比較シテ、ドノ位ノ不利益不便ヲ來シテ居

ルカ分ラヌト云フ奇ナル現象ヲ生ジテ居ルノデア

ル、吾々ハ屢々耳ニスルノデアリマス、殊ニ此處ニ

清君ハ居ラレマスガ、静岡縣ニ偉イ思想ガアルト云

フコトヲ私ハ屢々聽ク、静岡縣ハ多クハ御料林デア

リマス、是ハ國有林ト同ジ取扱ラシテ居リマスカラ、

多クノ人民ガ生活ガ出來ナイ狀態ヲ來シテ居ル所ガ

澤山アツテ、ソレガ爲メニ洵ニ穩ナラヌ考ヲ持ツテ居

ル者ガ中々多イト云フ事ヲ聽イテ、私共竊ニ恐レテ

居ルノデアリマス、單リ静岡縣ノミナラズ、他ノ縣

ニモ澤山サウ云フ事ガアリマス、アベコベニ明治政

府ヲ咀ツテ居ル狀態ガ澤山アルノデアリマス、只今田

中政府委員カラノ説明ヲ聽クト、打切法デ下戻期間

ヲ定メ、其以後ハ下戻ハ出來ナイコトニシナケレバ、

國有財産經營ノ方法ニ困ルト云フ御話デアリマシ

タ、一應御尤デアリマスガ、此點ニ就テハ能ク考ヘ

ナケレバナラヌ、人民ノ所有物ヲ取上ゲテ、人民ニ

苦痛ヲ與ヘテマデモ、國家ハ之ヲ經營シナケレバナ

ラヌカ、之ヲ考ヘナケレバナラヌ、如何ニ人民ガ之

ガ爲メニ困難シテモ、生活ニ困ツテモ構ハナイト云フ

リマセスカラ、澤山アルデアリマセウシ、又舊幕府

時代ノ事柄デアツテ其證據ノ蒐集モ容易ナラヌコト

デアリマスカラ、一年ノ期間内ニ出願スルコトハ

到底出來ナカッタ狀態デアリマス、ソレガ爲メニ出願

漏ガドレ位アルカ分リマセヌ、東北地方ニモ、關東ニ

モ、東海道ニモ、九州ニモ、中々今日澤山出願漏ガア

ルノデアリマス、斯様ナ關係デアアル所ノモノヲ、一

度期限ヲ極メテ、其期間内ニ出願ヲシナイカラ、後

ハ許サナイト云フコトニスルノハ、私ハ甚ダ國民ニ

對シテ殘酷ナル取扱デアアルト言ハナケレバナラヌト

思フノデアリマス、彼ノ家祿賞典祿ハ、明治十一年

ノ頃ニ於テモ一度打切りマシタ、然ル處更ニ家祿賞

典祿處分法ヲ拵ヘテ、出願ヲ許スコトニナツタ、ソレ

ガ一度打切デアリマス、然ル處澤山漏レタモノガア

リマシタ、アリマシタガ爲メニ一昨年デアリマシタ

カ、更ニ又今度ハ最後デアアル、政府ハ此同情スベク

憫ムベキ出願漏ノ人々ニ出願サセルコトガ至當デア

ルト云フコトデ、政府ニ於テモ同意サレテ、而シテ

是ガ法律トナツテ現ハレテ、其出願漏ノ人ガ悉ク出願

スルコトガ出來タ、是ト此國有林野ト較ベドウ違

フカ、國有林野ト云フモノガ、此家祿賞典祿ノ方ヨ

リハモット大ナル理由ヲ備ヘテ居ルモノト謂ハナケ

レバナラヌト思フ、家祿賞典祿ハ一ノ恩典デアリマ

スガ、國有林野ト云フモノハ恩典デハナイ、何トナ

レバ元來民有ナノデアアル、元來國有デアアルモノヲ民

有ニシテ與レト云フノデアハナイ、元來民有デアアルモ

ノヲ民有トシテ與レト云フノデアアリマスカラ、少シ

モ不思議ハ無イ、最早出願期間ガ切レタカラ、其以

上ハ許スコトハ出來ナイト云フノハ、ドウモ高利貸

ガ最早期限ガ切レタカラ、オ前ノ地面ハ返スコトハ

出來ヌトカ、金ヲ取ランケレバナラヌト云フヤウナ、

期限ヲ云々シテ請求ヲ拒ムト同ジヤウナ狀態ニ相成

ルノデアアル、斯様ナ事ハ國家トシテヤルベキモノデ

アルカドウカ、是ハ一ノ大問題デアアル、是ハ私ハ甚

ダ穩カナラヌ所ノモノデアアルト思フ、斯様ナ譯デア

リマカスラシテ、私ハ今日ハ國有財産法ヲ拵エテ、

國有財産ヲ整理スルト云フ場合デアリマスカラ、元

來民有デアツタモノヲ官有ニスル、國有ニスルト云フ



ヤウナ事ヲシナイデ、純然タル國有デアアルモノハ國有財産トシテ維持スル、元來ガ民有デアッタモノハ此際處分シテ、綺麗ニ民有ニスルト云フ方針ヲ執ル方ガ、國家トシテハ相當デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、今ヤ此聲ハ四方ニ滿チテ居リマシテ、昨年ニ於テハ現ニ請願ガ出マシテ、議會ノ採擇スル所ト相成ッテ居ル、本年ニ於テハ何千人何萬人ノ請願ガ出デントシテ居ル、斯様ナ譯デアリマシテ、昨年ノ請願ノ趣旨ト云フモノハ、出願漏ニ相成ッタモノニ對シテハ、一箇年ノ期間ヲ與ヘテ貰ヒタイ、ソレカラ又農商務省デ却下サレテ、行政訴訟ヲ起サナカッタモノハ更ニ一箇年行政訴訟ヲ起スコトヲ許シテ貰ヒタイト云フノデアリマシテ、是ハ衆議院ニ於テハ採擇ヲ致シタ譯デアリマス、ソレデアリマスカラ衆議院ノ意思ガ如何ニ在ルカト云フ事ハ、政府ニ於テモ十分御判リニナッテ居ラナケレバナラス、衆議院ノ意思ハ斯ノ如クデアル、衆議院ノ意思ハ即チ今日ノ國民ノ聲デア、之ニ對シテハ政府ニ於テハ同意シテ然ルベキデアルト思フ、斯様ナ譯合デアリマスルカラシテ、只今政府委員カラシテ直ニ同意スルト云フ御答ハ出來ナイカモ知レマセヌガ、清水君ニ對スル御答ノ様子ヲ見テハ、ソレハ出來ナイカモ知レヌガ、是ハ十分御考ニナッテ然ルベキモノデアルト思フ、此際ニ於テ衆議院ノ院議ヲ重シ、國民ノ聲ヲ御聴キ下サッテ、サウシテスツカリ整理ヲシテシマッテ元來ノ民有地デアッタヤウナモノハ、矢張民有ニシテシマウ、ソレモ今日迄行政訴訟ノ濟ンダモノマデ民有トシテ貰ヒタイト云フノデアリナイ、サウ云フモノハ仕方ガナイ、出願漏ニナッテ居リタルモノ、及行政訴訟ヲシナカッタモノニ就テハ、之レヲ救済スル方法ヲ講ジテ貰ヒタイ、サウシマシタナラバ、國民モ悅ブノデアリマス、今日直ニ之ニ對シテ御同意ト云フ御答辯ガ御差支デアルナラバ、ドウゾ大臣ニモ能ク御話ヲ願ッテ、御同意ヲ下サルヤウニ御願シタイノデアリマス、此點ニ就キマシテ御尋ナリ御願ヲ致ス譯デアリマス

○委員長(清水市太郎君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、國有林下戻ノ問題ハ、本法ニ餘程深イ因縁關係ノアル問題デアリマシテ、而シテ先刻來田中農商務

次官ハ、從來ノ當局者ノ中デモ、私ノ承ツタ所デハ、一番此問題ニ就テ同情アル御考ヲ御持チニナリ、常識アル御答ヲ承ツテ、私ハ密ニ感謝シテ居ル次第デアリマス、先刻ノ御答ニ依リマシテモ、大臣ニ能ク話シテ、何分ノ答辯ヲセラル、ト云フ御言葉モアッタ譯デアリマスカラ、田中次官ナリ山林局長カラ、大臣ニ十分此會ノ模様ナリ意見ヲ同情アル御説明ヲ願ッテ、此次大臣ニ出テ貰ウヤウニシテハドウデセウカ

○宮古啓三郎君 イマ一言申上ゲテ置キタイ、先刻ノ田中政府委員ノ御答ニ對シテ、清水君ハ幾分御満足ニナッタカドウカ知ラヌガ、大分常識アル答辯デ、其意ヲ得タリト云フヤウナ御話モアッタヤウデアリマスガ、私ニ言ハシメタナラバ、其位ノ手緩イ事デハイカヌノデアリマス、唯ダ村ニ委託ヲサレルト云フ位ナ事デ、此問題ハ解決ノ出來ルモノデナイ、委託ヲサレルト云フコトハ、山ヲ管理シテ、其山ノ枯木ヲ幾ラカ採ルトカ、枯枝ヲ採ルトカ、茸ガ出來タラ採ルト云フ位デ、如何ニモツマナリ利益デア、委託ニ對スル報酬トシテハ其位デアリマセウガ、吾々ノ主張ハ、元來民有デアッタモノヲ國有ニシテ仕舞ッタノガイカヌノデアリマス、管理位デハ決シテ満足ハ出來ナイノデアリマス、是ハ民有ニスルノガ正當デア、元來自分等ノ物デアルト云フ考ガ人民ノ頭カラ去ルモノデハナイカラ、今日デモドシ、山ニ這入ッテ木ヲ採ル、見付カレバ罰ニナル、見付ラナケレバ其儘デアリマス、併シ知ッテ居ッテモヤッテ居ル、福島縣ノ或ル村ノ如キハ、ドシ、盜伐ヲヤル、時々捕マルケレドモ止メコハナイ、ドウシテサウ云フ事ラスルカト云ヘバ、食ヘナイカラヤルト云フノデ、如何ニモ事情已ムヲ得ナイモノガアル、元來自分ノ物デアッタト云フ事ガ頭カラ拔ケナイ、ソレガ今國有ニナッテ居ル、其國有ニナッタノガ惡イト云フヤウニ彼等ハ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、木ヲ伐ッタッテ何ダ、斯ウ云フ頭ヲ持ッテ居リマスカラ、容易ニ制シテモ聽カナイ、自分ノ物ダト云フ觀念ガ殘ッテ居リマスカラ、是ガ國有ダト云ッテ經營シテ見タ所ガ、決シテ愛林ドコロデハナイ、人ガ火ヲ放ケタッテ防グデモ何デモナイ、反對ノ行動ニ出ル、斯ウ云フ問題ハ

國家ガ經營シテモ利益デハナイ、寧ロ人民ニ遣ッテ、國家ハ稅ヲ取ツタ方ガ宜イ、少シ高クテモ宜イ、其方ガ却テ利益デア、國家ガ森林ニ非常ナ金ヲ投ジテ、殖林ヲ御遣リニナルカラ高イモノニナル、矢張人民ノ物ハ人民ニ遣ッテ稅ヲ取ル、サウシテ利益ヲ得レバ國家經濟ノ上カラ言ッテ利益デア、ソレデア、ルカラ膽ツ玉ヲ大キク持ッテ、國家財産ヲ失フトノミ考ヘテハイカヌノデ、何處マデモ人民ノ物ト云フ頭デ、國家ノ爲メニ却テ此方ガ利益ダト云フ風ニ考ヘテ戴ケバ、此問題ノ解決ハ決シテ骨ノ折レルモノデハナイト思ヒマス、吾々ノ注文ハ今日マデノ官僚内閣トシテハ、中々六ヶシイ問題デアッテ、或ハ御答辯ノ材料ハ昔ノ材料ガ殘ッテ居リハシナイカト言ッテ反對シテ來タ、今ヤ時代ガ違ッテ居ル、何處迄モ民本主義デ行カナクテハナラス、又政府モソレヲ標榜シテ居ル、人民ノ利益ヲ何處迄モ考ヘナケレバナラスト云フ今日ノ政治ノ遣方カラ申シマシタナラバ、今迄ノ官僚式ノ答辯デハイカヌト思フデアリマスカラ、ドウゾ今迄ノ主義ハスツカリ去ッテ、サウシテ何處迄モ「デモクラチック」式ガ國家ノ利益デアルト云フコトヲ十分頭ニ置イテ戴イテ、此問題ヲ解決スルヤウニ願ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ御願デアリマス、是ハ只今御答辯ヲ無理ニ願ヒマセスカラ、ドウゾ只今申上ゲマシタ事柄ヲ十分ニ御了解下スッテ、固ヨリ高等政策ニ屬スル事デアリマスカラ、大臣トモ能ク御相談下スッテ、何レ此問題ニ就テハ色々相談中ノヤウデアリマシテ、又重ネテ政府ニ御交渉スル時機ノ來ルコトデアラウト思ヒマスカラ、ドウゾ今ヨリシテ此問題ハ御考ヲ煩シテ置キタイト思ヒマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○委員長(清水市太郎君) 私ノ申上ゲタノモ、其土地ノ管理デ満足スルト言ウタノデハナイ、次官ニ於テモ能ク了承サレテ、自分デ御答辯ガ出來ヌナラ、大臣ニモ話シテ、大臣ニ能ク御承知ヲ願ッテ、色好イ返事ノ大臣カラアルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト申スノデアリマス、サウスルト此次ハ大臣ニ御出席ヲ願ウヤウニシタイ

○宮古啓三郎君 私ハ此問題ニハ大臣ノ出席ハ求メ

マセス

○委員長(清水市太郎君) サウスルト大臣ノ出席

○澤來太郎君 私ハ申上ダマスル迄モナク、此法案ノ大體ニ於テ何等ノ異論ヲ持ツテ居リマセス、又多少ノ或點ニ就テ——多少ト言フヨリモ、大ニ責任ヲ有シテ居リマスカラ、反對スベキ筈デアリマセス、ソレダケヨリ多ク心配シテ居リマシテ最善ノ上ニモ尙ホ最善ヲ期シタイ、斯ウ云フ考デ居リマスカラ、隨テ私ノ是ヨリ御尋致サウト云フ事柄モ、決シテ質ノ惡イ質問ヲスル譯デハアリマセス、比較的大ニ質ノ良イ質問ヲ致サウト思フノデアリマス、特ニ農商務省ノ政府委員ニ對スル御尋ハ、是ハ田中次官ヨリ御答ヲ願ヒタイ、何故左様ニ御名指シヲ申上ゲルカト云フト、兎角本會タルト委員會タルト問ハズ、政府委員ハ代議士ノ動モスレバ誤解ヲ招ク事ガ多イ、何故誤解ヲ起スカト申スト、是亦申上ゲル迄モナク、自ラ心理狀態ヲ異ニシテ居ル、相成ルベクハ田中次官ノ如ク代議士兼政府委員ト云フヤウナ方ニ御答ヲ願フト、雙方ノ心理狀態ガ能ク御了解ガ付イテ居リマスカラ、自然満足ヲ得ルコトガ多イト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、是ハ序文ガ長クナリマシタガ、先ヅ農商務省ニ關スル事カラ御尋ヲ致シマスガ、御承知ノ通り私ハ宿論トシテ、我國ノ森林ナルモノハ、是レ國家的ニ統一センケレバナラヌト云フコトヲ唱道シ來タノデアリマス、寺内内閣ノ當時ト覺エテ居リマスガ、自分ハ之ヲ統一スル意思アリヤ否ヤト御尋シタ所ガ、無論意思アツテ、而シテ大ニ統一セントシテ居ルト云フ御答ヲ得タト記憶シテ居リマス、寺内内閣ト現内閣トハ固ヨリ其成立ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、必ズシモ同一ノ御方針ヲ強ユル譯デハアリマセケレドモ、併ナガラ之ヲ理論ノ上カラ見テモ、主義ノ上カラ見テモ、又今日ノ亂雜ナル狀態カラ見テモ、苟モ常識判斷ノ許ス範圍ニ於テ、國家ニ統一スルヲ可トスルニ至ツテハ、何人モ異論ハ無カラウト思フ、此問題ハ果シテ何レノ時機ニ於テ統一サレルカ、時機ノ問題、時間ノ問題ニ歸スルノデアリマス、故ニ此時機ノ早晚來ラン事ヲ期待シ得ル以

上ハ、先ヅ現在此處ニ行ハレテ居ル林業行政、即チ林政統一ト云フモノノ形ヲ作ルト云フノガ第一ノ前提ニシテ、大ナル豫備行為ヲサレテ思ヒマス、農商務省ニ於テハ、果シテ此豫備行為ヲサレテ居ルカ、ドウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、現在ニ於キマシテハ、北海道カラ樺太、或ハ臺灣、朝鮮、内地ト此森林ヲ異ニシテ、而シテ其經營政策モ各々異ニシテ、何等ノ聯絡ガ無ケレバ、統一モ無イト云フコトヲ聽イテ居ル、是ハ國家ノ上ニ由タシキ影響ノアル問題デアリマスカラ、此儘ニ放任シテ可ナリト云フ譯デハ無論ナカラウト思ヒマスケレドモ、少クモ近キ將來ニ於テ、我國ノ國有森林ナルモノガ統一ノ運命ヲ宿シテ居ル以上ハ、是ガ前提、是ガ豫備行為トシテ、今日ヨリ其統一ノ急務ヲ感ジ、政府デハ御用意ガアルベキ筈デアルケレドモ、當局ハ果シテ其準備行為ヲサレテ居リマセウカ、如何デアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイ、尙ホ御參考迄ニ昨年ノ六月二十四日ノ某新聞ニ斯ウ云フ事ガ載ツテ居タコトガアリマスカラ、一寸簡單デスカラ、御紹介致シマス「林業行政統一」ト云フ題デ「從來林業行政上ニ就テハ北海道、樺太、臺灣及朝鮮ト内地間トニ何等ノ聯絡ナク、各自獨立ノ政策ヲ執リ來リタルガ、今ヤ木材需給ノ現狀ニ鑑ミ、組織アル林業行政ノ遂行ヲ計ル爲メ、農商務省ハ來ル九月中旬、帝室林野管理局ヲ始メ、内地、北海道、樺太、臺灣及朝鮮ノ林業關係ノ部局長ヲ同省内ニ會合セシメ、協議會ヲ開催スル筈ニテ、日下打合せ中ナリト」是ハ新聞記事デアリマスカラ、果シテ正確デアルヤ否ヤ、私ノ保證スル所デアリマセスケレドモ、併ナガラ斯様ナ雜報ハ多クハ根據ヲ有シテ居ル事ガ多イノデアリマス、一般ニ此當時ヨリシテ斯ノ如キ御企ガアツタスルナラバ、私ハ今申上ゲマシタ準備行為ヲサレテ居ルニ相違ナイト思ヒマスケレドモ、一應其御答ヲ得タイト思フノデス

○田中政府委員 此森林行政ノ統一ノ事ニ就キマシテ、非常ニ御心配ヲシテ戴カレテ、熱心ナル只今ノ御質問ニ就テハ、農商務當局トシテ深ク感謝ヲ致シマス、御話ノ通りニ大體日本ノ森林ノ行政ヲ掌ツテ居リマスル農商務省トシテハ、單リ現在ニ於ケル農商務省ノ管轄區域ノミナラズ、進ンデ樺太ニ致シマシテモ、北海道ニ致シマシテモ、或ハ臺灣ハ勿論ノコト、或ハ朝鮮ニシテモ、何レモ其統轄ノ下ニ於テ、系統アル萬般ノ施設ヲ致シタイト云フ希望ハ、十分ニ持ツテ居ル譯デアリマス、殊ニ或ル時代ノ農商務大臣ノ如キハ、殆ド進退ヲ賭スルト云フ位ノ御決心ヲ持ツテ、其問題ニ就テ閣議ニ於テ爭ハレタト云フ事モ、私ハ蔭ナガラ承ツテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、サウ云フ事ノ起ル本モ、要スルニ全國ノ林政ニ於テ、實際ニ於ケル不統一、遺憾ノ點ガアルカラ起ツタ事ダラウト思ハレマス、併ナガラ假ニ此樺太ニシテモ、北海道ニシテモ、其他ニ致シマシテモ、色々各々分レテ管轄ヲ異ニシテ居リマスルコトニ就テハ、ソレハ沿革アリ事情ガアリマシテ、之ヲ直チニ統一スルト云フコトハ、ドウシテモ行ハレズニ今日ニ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、其事ハ管轄官廳ノ各々異ナルト云フコトハ兎角トシテ、現在ニ於ケルソレハノ關係ニ於テ、出來得ル限リ統一ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、皆等シク農商務省ノミナラズ、其各々管轄ヲ異ニシテ居ル各當局ニ於テモ、同感ノ點ガアルコト、認メマシテ、丁度只今御引例ニナリマシタ如ク、昨年私ノ就任以後ニ於キマシテ、樺太ハ拓殖局長、北海道ハ山林課長、臺灣ハ殖産部長、ソレカラ朝鮮ハ主任ノ技師、ソレカラ御料局モ首席ノ技師、ソレカラ農商務省ノソレハ主任ノ部局長等ガ寄集リマシテ、數日間ニ互リマシテ各方面ニ於ケル現在ノ事情、過去ノ施設、又將來ノ施設等ニ就テ、腹藏ナキ意見ノ交換ヲ行ヒマシテ、又其集合ノ席ニ於テ、各々所謂統一上ニ遺憾アリト認メマスル點ヲ互ニ批評シ合ツテ、總テ將來ノ施設ノ方向ヲ、抵觸シナイ様ニ、一ツニ向ケテ行クヤウナ事ニ就テ、隔意ナキ十分ナル意見ヲ交換致シマシテ、ソレゾレ成案ヲ得マシテ、各部局長等モ其方針ニ基イテ、各々其任地ニ歸ヘラレテ、ソレハ長官等ニモ意見ヲ述ベテ、其時ノ打合せノ方針ニ基イテスルヤウニ致シタ、初メテノ會合デアリマスルコトデ、固ヨリ一遍ノ會合デ、此全國ノ林政ノ統一ナドト云フ重大ナル問題ヲ遺憾ナク整理出來ル譯デアリマセスカラ

シテ、今後トモ例年出來得ベキ機會ニ於テ度々會合シテ、ドコマデモ此目的ニ向テ進ンデ行カウト、隨分細カイ事ニマデモ進ンデ、例ヘバ北海道ニ於テハ將來植林ヲスルニハドウ云フモノヲ植付ケテ行カウトカ、内地ニ於テ斯ウ云フ事ニ力ヲ入レル、臺灣ハ此方法ヲ以テ進マウトカ、ソレカラ又其所ニ於テ何カ新ナル外ノ林政上ニ關係ノ及ブベキ出來事ガ起レバ、早速互ニ報告シ合ツテ、所謂統一ノ目的ヲ案サヌヤウニシテ行キマスルコトカ云フヤウナ事ヲ、餘程細カイ項目ニ互ツテ打合ラシタヤウナ事デアリマス。之ヲ以テ從來世間ニモ批評ガアリマシタヤウナ、所謂不統一、政府ノ全體ノ上カラ見レバ、甚ダ面白クナイヤウナ事ノ評判ヲ外カラ招クヤウナコトノ弊害ハ、大ニ矯メラレルコト、思ハレマス、果シテ今後斯ウ云フヤウナ打合會ノ目的デアル山林ノ統一ヲ遺憾ナク遂行シ得ラレルヤ否ヤ、私ハ斷言ハ出來マセヌケレドモ、從來ニ増シテ確ニ一進歩デアルト云フ事ダケハ、只今申上ゲテ差支ナイト思ヒマス、ドコマデモ御質問ノ趣旨ニ基イテ、同様ニ此全體ノ林政ノ統一ヲ圖ルト云フコトニ就キマシタハ、非常ニ苦心ヲ致シテ居リマスヤウナ譯デアリマス、只今申上ゲマシタヤウナ順序デ統一ヲヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、更ニ進ンデ職制上カラ官制マデモ變ヘテ、統一ヲスルト云フマデニシ得ルコトガ出來マスレバ、又更ニ結構ト思ヒマス、兎モ角モ只今ノ所デハ今申上ゲタ準備マデ進ンデ參リマシタ譯デアリマス

○野田文一郎君 私ノ質問致シタイ事柄ハ、少シ從來ノト變ツテ居リマスガ、此境界ノ査定ニ關スル事、竝ニ査定ニ對シテ不服ノアル場合ニ於ケル救済方法ニ就テ、是ハ大藏省ノ政府委員ヨリ御答ヲ願フコトガ相當デアルト思ヒマスガ、御尋ヲ致シタイ、申ス迄モナク土地所有者間ノ關係ハ、純然タル私法的ノ關係デゴザイマスカラ、隣接地ノ所有者ガ境界ニ就テ意見ヲ異ニ致シマス場合ニハ、先以テ當事者ガ協定ヲ試ミテ、其協定ノ成立セザル場合ニハ、通常裁判所ニ訴ヘテ、所謂境界確定ノ訴ニ依ツテ保護ヲ受ケルト云フコトガ通則デアリマス、此理論ハ隣接地ガ

個人ノ所有デアルト、又國ノ所有デアルトノ間ニ於テ、何等ノ區別ハ無イモノト思ヒマス、左様ニ考ヘマス、境界査定ト云フコトハ、前ノ林野法ニモゴザイマスシ、從來用ヒラレテ居リマスケレドモ、境界ノ査定ハ、其性質カラ申シマス、一個ノ境界ニ就テノ當事者ノ協定ニ外ナラヌモノデアラウト思ヒマス、故ニ境界査定ト云フコトヲ法制ノ上ニ認メマスルコトハ、異存ハゴザイマセヌガ、其性質ガ今申ス如ク一種ノ境界ノ協定ニ外ナラヌモノト致シマスレバ、之ニ對シテ不服ノアル場合ニハ、是ハ行政裁判所ノ訴訟ニ依ルトカ、若クハ訴願トカニ依ルベキモノニアラズシテ、通常裁判所ニ境界確定ノ訴ヲ起シテヤルノガ本來ノ性質ニ適スルノデアラウ、斯様ニ私ハ考ヘマス、又實際ノ上カラ申シマシテモ、先刻來モ裁判ノ批評ガ色々アリマシタガ、境界ノ査定ヲスルト云フヤウナ私法的ノ關係ヲ、行政裁判所ガ裁判スルト云フコトハ、少シ方角ガ違ッテ居リマスカラ、其裁判ノ正鵠ヲ得ザルコトハ固ヨリ怪ムニ足ラヌト思ヒマス、又更ニ之ヲ人民ノ側カラ申シマシテモ、僅ニ境界ノ査定ニ就テ不服ガアリマシテモ、能ク能ク重大ナ事デナイト、東京マデ態々參ッテ行政訴訟ヲ起スルコトハ、事實上ニ於テ出來ヌ事デアル、多クノ場合ニ於テハ泣寢入ヲスルト云フコトガ實例トシテハ多イノデアリマシテ、既ニ私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於キマシテモ、査定ニハ遂ニ泣寢入ヲシテ、其結果更ニ他ノ個人ノ隣地所有者トノ間ニ第二ノ爭ヲ生ズルト云フ事モ、往々ニシテ見聞スルノデアリマス、ソレ故ニ斯ノ如キ場合ニ於テハ、訴願若クハ行政訴訟ニ依ラズシテ、通常裁判所ニ於テ救済ヲ求メシムルト云フコトガ相當デアル、隣地ノ所有者ガ國ノ所有デアアルガ爲メニ、其所有權ガヨリ優越ニナツテ、其國ノ所有權ニ隣接シテ土地ヲ持ッテ居ル者ハ、偶々隣ノ所有者ノ査定ト云フヤウナコトニ泣ク泣ク服從シナケレバナラヌト云フヤウナ事ガ、實際ニ於テ多イト云フコトハ、是ハドウシテモ權利ノ保護ヲ全ウスル所以デナイト思ヒマス、本案ハ國有林野法ト同ジヤウナコトデ、訴願ト云フコトガ殖エテ居ルダケニナツテ居リマスガ、此點ニ就テハ通常訴

訟ニ依ツテノ救済ハ當然許スノデアツテ、其外ニ尙ホ斯ウ云フ訴願若クハ行政訴訟ト云フコトヲ許スト云フ御趣意デアルカ、若シサウデナケレバ訴願若クハ行政訴訟ト云フコトヲ止メテ、通常裁判所ニ救済ヲ求メルト云フコトニ御改メニナルヤウナ御考ハゴザイマセヌカ、尙ホ査定ノ事ニ就テモ、政府ノ側カラ査定スルト云フ通知スルト云フコトハアリマスケレドモ、人民ノ側カラ査定ヲ請求スルト云フコトハ是ニハ無イヤウデアリマス、ソレ等モ矢張隣接地ノ所有者ガ平等ノ關係ニ於テ保護セラルベキモノデアルト云フ觀念ニハ反スルヤウニ思ヒマス、此點ニ就テ一應御意見ヲ伺ツテ置キタイ

○河本政府委員 此査定ニ對シテ不服ノアル場合ニ對スル救済方法ハ、是ハ從來國有林野法ニ規定シテゴザイマシタシ、其他林野ニ關係セヌ所ノ官有地ニ就テモ、此訴願法、行政裁判所ノ行政裁判ヲ許シタ事項ノ中ニ「土地ノ官民有區分ニ關スル件」ト云フコトガアツテ、從來行政裁判所ノ訴訟事項ト云フコトニシテ居リマシタノデアツテ、ソレデ此法案ヲ作ルニ就テハ、矢張行政裁判事項ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ境界ノ査定ヲ隣接地ノ方ノ所有者カラ請求スル場合ノ規定ガ無イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ無論サウ云フ規定ハ置キマセヌノデゴザイマスガ、或ル場合ニハ政府ニ申出デテ、境界ノ査定ヲシテ貰フト云フコトニナルモノデアルト考ヘマス、別ニソレヲ權利トシテ請求スルコトヲ得ト云フ規定ハ置キマセヌケレドモ、事實上ニ差支ナイコト、考ヘテ居リマス

○野田文一郎君 モウ一遍伺ヒマスガ、サウスルト私ノ前申シマシタ境界ニ就テノ爭ハ、其事案ノ性質ガ司法裁判所ニヤルベキモノデアルト云フコトノ根本ノ觀念ニ就テノ御意見ハ如何デセウカ、其點ニ就テハ若シ私ノ只今申ス如キ事ガ正當デアルトスレバ、左様ニ御改メニナルト云フヤウナ御意嚮ハナイノデスカ

○河本政府委員 國有財産ノ主タルモノハ、御承知ノ如ク公共用財産、公用財産ト云フヤウナ公ナ性質ヲ持ッテ居ルモノデゴザイマス、營林財産モ見方ニ

依ッテハ、公ノ性質ヲ持ッテ居ル者デアルト云フカラ、此境界ニ就テ争ガアル時ニハ、普通ノ民有地ト民有地トノ境界ノ場合ト違ッテ、是ハ隣接地ノ人ノ言フコトヲ能ク聞キマシテ、サウシテ國家ガ査定スベキ性質ノモノト考ヘマシテ、ソレデスウ云フ立案ヲ致シタノデゴザイマスガ、此境界ノ査定ト云フコトハ、行政處分デアリマスカラ、行政處分ニ對シテハ、訴願ナリ行政裁判所ニ持ッテ行クノガ相當デアアル、境界ノ査定ト云フ事ノ當然ノ行途トシテ、訴願ナリ行政裁判所ニ持ッテ行クノガ相當ナリト考ヘテ居ルノデアリマス

○野田文一郎君 境界査定ノ事ニ就テノ私ノ見解ハ少シ違ヒマスノデ、根本ニ於テ餘程意見ガ違ヒマシガ、ソレ以上ハ議論ニナリマスカラ、此點ハ是デ宜シウゴザイマス、ソレカラ尙ホ十九條ニ就テ一ツ伺ッテ置キタイノデスガ、十九條ニハ、貸付期間ノ終了又ハ貸付契約ノ解除ニ當リ、政府ニ於テ時價ヲ提供シテ其國有財産ノ上ニアル建物其他ノ物件ヲ買取ルコトガ出來ルト云フコトガアル、此時價ニ就テノ協定ガ調ハザル場合ハ、如何ニ致シマスノデゴザイマセウカ、又所有者ガ正當ノ理由ガアレバ拒ムコトガ出來ルコトニナッテ居リマスガ、正當ノ理由アリヤ否ヤニ就テ争ノアル場合ニハ、ドウ云フ風ニシテ救済シマスカ、此二點ニ就テ伺ヒマス

○河本政府委員 十九條ノ時價ハ民事裁判所ニ於テ決定セラル、コト、思ヒマス、ソレカラ正當理由アリヤ否ヤモ、亦民事裁判所ニ於テ決定セラル、コトト思ヒマス、争ヒガアル場合ニ於テハ……

○宮古啓三郎君 先刻ノ査定ノ事ニ就テ、一寸——先刻ノ政府委員ノ御答デ、大體同ジダラウト思ヒマスケレドモ、後トデ争ヒガ起リマシテハイケマセスカラ——此十二條ノ境界査定ノ事、十三條ノ行政訴訟及訴願ノコト、是ハ行政處分トシテ出來ルコトデアリマスガ、更ニ人民側カラ民事ノ訴ヘテ起シテ、境界確定ヲスルト云フ事ハ、ソレヲ以テ妨ゲル譯デハ無論ナイト思ヒマスガ、其點ニ就テノ御答ヲ——尙ホ御判リニナラヌケレバ、モウ少シ述べマス、此十二條若クハ十三條ハ政府ノ方カラ境界査定ヲシタ

場合ニ於テ、其査定ニ不服ノ場合ハ、訴願又ハ行政訴訟ヲ起スコトガ出來ルト斯ウ云フノデ、是ト違ッテ私ノ間ハント欲スルノハ、人民ガ政府ノ境界査定ヲ待タナイデ、ドウカ境界ガ判明セヌカラ、境界ヲ確定シタイト云フ訴ヲ、民事裁判所ニ起スト云フコトハ、ソレヲ妨ゲルモノデハナカラウト思ヒマス、出來ルト云フコトニ就テハ、反對ノ御意見ハナイダラウト思ヒマスガ、如何デ

○田中政府委員 一寸御答致シマスガ、是ハ此法案ノ趣意ハ、只今ノ御尋トハ違フダラウト思ヒマス、今ノヤウニ矢張民間ノ民有地ノ所有者ガ、自己境界ト官有地ノ境界トニ疑ヒノアル場合ニ、ソレハ無論申立ルノハ何時デモ申立ッテ宜ウゴザイマス、争ヒガアレバ官ガ之ヲ査定スル、サウシテ査定シタ上ニ於テ、此法律ニ從ッテ結末ヲ著ケルト云フコトニナラウト思ヒマス、現在ニ於テモサウシテ居ルコト、承知シテ居リマス

○宮古啓三郎君 サウスルト見解ヲ異ニスルト云フコトニナルカモ知レヌガ、官ト民トノ間ニ私權ニ關スル争ヒガ起ッテ場合ニ於テハ、民事ノ裁判所デ裁判ヲスルト云フコトハ、當リ前ノ話デ、其民事ノコトハ何處マデモ變ルモノデヤナカラウ、但シ官ノ都合ニ依ッテ境界ヲ査定ヲシタ、其査定ヲシタモノニ對スル處分ハ、即チ是ハ行政處分デアアルカラ、之ニ對シテ訴願又ハ行政訴訟ヲ起スノデアルト、斯ウ云フダケノモノデアッテ、人民カラ査定ヲ要求スル必要ハナイ、一體確定ノ訴、若クハ確認ノ訴ヘト云フモノヲ民事ノ裁判所ニ起セバ、其場合ニ於テハ民事裁判所ハ相當ノ裁判ヲスベキモノデアルト斯ウ思フノデ、ソレハ反對サルベキ理由ガナカラウト思ヒマスガ、若シ反對サレルトスレバ、見解ヲ異ニスル、法律上ノ解釋ガ違フノデ、如何トモスルコトガ出來マセヌガ、今ノ政府委員ノ御答ノヤウナ譯デハ、今迄モナカラウト思ヒマスガ、如何デ……

○田中政府委員 先程西野政府委員カラ御答致シマシタ通りニ、此土地ノ官民有區分ハ、所謂權利本體ノ争ヒ自身モ、一ツノ行政事項トシテ、行政處分デ隨テ結末ハ行政裁判所ニ於テ著ケルコトニナッテ居ル、一

部分異ナル場合ニ於テハ、同身一體ヲナスベキ境界ノ中ニ就テモ、一ツノ行政事項トシテ從來ノ法令ガソレニ基イテ取扱ハレ來ッテ居ルノデアリマス、是ハ法律ノ立テ方デアリマセウガ、官ト民トノ同ジヤウナモノニスルト云フコトニナルト、官民有區分ヲ一體民事裁判所デ處分シテ宜イ譯デ、サウデナイデ官民有區分モ境界査定モ總テ之ヲ行政事項トシテ取扱ヒ來ッテ居ルノハ、總テノ今迄ノ日本ノ法令デアルト承知シテ居リマス

○宮古啓三郎君 私共ノ考デハ、殊更ニ政府ニ向ッテ境界査定ヲシテ貫ヒタイト云フヤウナ請求ヲスル必要ハナイ話デアッテ、矢張原則ニ依ッテ争ヒガ境界ニ就テアルナラバ、普通ノ裁判所デ之ヲ裁判スルト云フコトハ、差支ナイコトデアッテ、本法ノ十二條十三條ト云フモノハ、單ニ政府ガ査定ヲシルトキニソレニ、不服ガアルナレバ是ハ訴願又ハ行政訴訟ニ依ッテ救済スルト云フコトガアルダケノモノト思ヒマスガ、ソレニ就テハ法律上ノ意見ガ違フト云フダケデアラウト思ヒマスカラ、此以上伺ッテモシヤウガナイト思ヒマスカラ、置キマセウ、ソコデモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、十條ニ隣接地ノ所有者ニ通知シテ立會ヲ求ムルコトガアル、矢張十一條ニ境界査定ヲ了シタルトキハ隣接地ノ所有者ニ之ヲ通知スベシト云フコトガアリマスガ、之ニ關シテ今迄度々問題ガ起ッタコトガアル、ソレハ境界査定ヲシマスルニ就テ、國有地ノ隣接地、即チ直接ノ隣接地ガ甲ト云フ先ヅ隣接地ガアッテ、其隣接地ノ次ニ、今度ハ乙ト云フ土地ハガアル、其場合ニ政府ノ方ノ考デハ、甲ト云フ土地ハ是ハ國有地デアルト見テシマッテ、サウシテ乙ノ方ニ持ッテ行ッテ、境界ヲ査定シテ、境界ヲ決メテ行ク、スルト全然甲ト云フモノハ其中ニ包含シテシマフ、デ是ハ隣接地ノ所有者トシテ取扱ハレナイデ、通知モナケレバ何モナイ、何時ノ間ニカ自分ノ地所ガ無クナッテシマフト斯ウ云フノデ、其者ガ行政訴訟ヲ起スト云フト、御前ハ隣接地ノ所有者トシテ通知ガナイ人デハナイカ、サウスレバ行政訴訟ヲ起セタデハナイカト云フコトデアアル、民事ノ裁判所ニ訴ヲ起スト、是ハ境界査定デ、境界ガ中ニ入ッテ居ル關係デアルカ

ラ、矢張民事ニ裁判ヲ起セヌナント云フ裁判ニ懸カッ  
タ事ガアル、ソレデ此案ハサウ云フ點ハドウ見テ  
居ルノデアルカ、甲ト乙ト隣接地所有者トシテ通  
知モシ、立會ハセモスルト云フコトニシ、又行政訴  
訟ヲ起スニ就テモ、甲ノ地所ノ所有主モ、矢張之ヲ  
許スノデアルカ、此點ニ對シテハドウ云フ是ハ御意  
見デ此法律案ガ出來テ居リマスカ、ソレヲ

○田中政府委員 只今御尋ノコトハ、或ハ御質問ノ  
趣意ト私ノ了解ト違ッテ居ルカモ知レヌガ、御尋ノ如  
ク隣地ニ甲ナル所有者ガアルノニ、其者ニ通知ヲセ  
ナカッタト云フ事實ガアルトスレバ、即チ其行政處分  
ガ此法律ノ第十條ニ違背シタ所爲デアリマスルカラ  
シテ、ソレハ不當ナ處置ニナラウト思ヒマス、併シ  
果シテ甲ナル隣接地所有者ガアルヤ否ヤト云フコト  
ハ、是ハ事實問題デアリマスガ、御質問ノ如ク有ル  
ト既ニ事實ヲ認定シテ、其者ニ通知シナカッタト云フ  
ナラバ、明カニモウ第十一條ニ背イタ不當ノ行政處  
分ニナラウト思ハレマス、ドウモアルヤ否ヤト云フ  
コトニ就テ、多分疑ガアルノデ、只今御尋ノアルヤ  
ウナ問題ガ起ッテ來ルノデアラウカト私ハ想像セラ  
レマス、一寸其邊ノ事實——根本トナルベキ事實ニ  
就テノ了解ヲ得ヌモノデゴザイマスカラ、甚ダ要領  
ヲ得ナイ御答カモ知レマセヌガ……

○宮古啓三郎君 此問題ハ少シハッキリサシテ置キ  
タイト云フノハ、後デ爭ヒガ起ルカモ知レマセヌカ  
ラデアリマスガ、國有地ガ茲ニ一ツアル、甲ト云フ人  
ノ所有地ガアル、是ハ現在ノ圖面ニハ甲ノ所有地ト  
シテ載ッテ居ル、其次ニ乙ト云フ人ノ所有地ガアル、國  
有地ト乙トノ地所ノ間ニ甲ノ地所ガ含マレテ居ル、  
ソコデ政府ハ査定ヲシテ、此乙ノ真中ノモノガ即チ  
國有地ト民有地ノ境デアル、斯ウ決メタル、サウスルト  
乙ト云フ人ハ半分國有地ヘ這入ルト云フコトニサレ  
ルノデアアルカラ、是ハ隣接地トシテ地所ヲ要求サ  
レ、及ビ行政訴訟ガ出來ルノデアアル、乙ト云フモノ  
ハ真中ニ挾マツテ、飛超エテシマツテ居ルカラ是ハ境  
界ノ一デナイカラト云フノデ、其人ニ通知モセズ、ソ  
レカラ又行政訴訟ヲ起セヌト云フコトニナルト云フ  
ノガアル、一寸變ナモノデアアル、斯ウ云フ實例ガ今迄

アツタ、ソレニ對シテハ、政府ノ御意見ハ甲ニ矢張隣  
接地所有者トシテ通知ヲシ乙ニモ隣接地所有者トシ  
テ通知ヲシ、行政訴訟ヲ起ス場合ニ於テモ甲モ起セ  
レバ乙モ起セルト云フコトニスルノカト云フコトデ  
アリマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今ノ御示シノ  
例ハ頗ル不思議ナ例デアリマスルガ、併シ若シモサ  
ウ云フコトガアリトスレバ、其甲ト國有林トノ間ノ  
境界ノ査定ハ未ダ出來テ居ナイ譯デアリマスカラ、  
更ニ其査定ニ就テ申立テニナツテ、採決ヲ受ケテサウ  
シテ訴願ナリ行政訴訟ナリ爲サツテ宜カラウト思ヒ  
マス、全ク甲ト云フ人ガ前ノ手續カラ除カレテ、通知  
モ受ケズ、其自分ノ所有地トノ境界査定モ受ケテ居  
ナイト云フノデアリマスカラ、其手續ハ更ニ進メテ  
宜カラウト思ヒマス

○宮古啓三郎君 只今ノ政府委員ノヤウナ御考デア  
ルト、此國有財産ノ條項ハ修正スル必要ハ私ハアラ  
ウト思フ、ドウモ真中ニ甲ト云フ地所ガアツテ、其次  
ニ乙ト云フ人ノ地所ノ真中ノ處ガ、丁度民有地ト國  
有地ノ境デアアルト云フ事ニ見ル場合今ハ問フテ居  
ルノデアリマスカラ、サウシマスルト甲ト云フ人ノ  
地所ガ真中ニアツテ、何ダカ譯ノ分ラナイモノニナッ  
テ居ル場合ニ於テハ、甲ハ事實所有者トシテ取扱ヒ  
ヲ受ケ、通知モ受ケ、行政處分ヲ受ケル、甲ハ全ク門  
外漢デアアル、斯ウ云フコトニナツタ場合ニハ、又甲ニ  
對シテ——甲ト云フモノガ或ハ申立テヲスルトカ何  
トカ云フコトデアレバ、ソレハ全ク餘計ナ手續ヲセ  
ンケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、  
サウ云フコトヲスルト云フコトハ、餘程妙ナモ  
ノデアリマスカラシテ、若シ只今ノ政府委員ノヤウ  
ナ御考デアルナラバ、ソレヲ改メテ——此條文ヲ改  
メテ矢張甲モ隣接地所有者トシテ通知スル、乙ニモ  
通知スル、乙モ甲モ行政訴訟ハ起シ得ル、斯ウ云フ  
コトニシマシテ、又サウ云フコトニ此條文ヲ修正ス  
ルコトハ六ヶシイコトデナカラウト思フ

○田中政府委員 私ハ只今ノ御尋ノ通りデアリマス  
レバ、何モ修正スル必要モナイノデ、少シモ御心配  
ニナルコトハナイト思ヒマス、其甲ト云フモノニ果

シテ貴方ノ御示シノ如キ其隣リニアルカ否ヤト云フ  
コトガ分ラナイ場合ニ、貴方ノ仰シヤルヤウナ質問  
ガ起ルト思フ、事實甲ガ其隣リニアルカ否ヤト云フ  
コトガ分ッテ居ナイ場合ニ限ッテ、チャント政府ニア  
ル地圖ノ上ニモ隣接所有地トシテ載ッテ居ル者ニ、政  
府ガ通知シナイト云フ手落ナドト云フモノハアルベ  
カラザルコト、思フノデアリマス、ケレドモ何等カ  
ノ場合ニ於テ甲ト云フ人ノガ、地圖ノ上ニ現ハレテ  
居ナカッタトカ、分ラナカッタト云フ場合ニ、サウ云フ  
間違ヒハ或ハ起ルカモ知レヌ、是ハドウモ民事ニモ  
能クアル話デ、或ル一ツノモノヲ甲ト乙ト爭フ事ガ  
アルカモ知レマセヌ、爭フテ裁判ガコ、デ決マルカ  
モ知レナイ、又此事ニ就テ丙ト云フ者ガ己ノ物ダト  
云ウテ、訴訟ガ起ルカモ知レナイ、即チ丙ト云フ者  
ガ、政府ト丙ト云フ人トノ間ニ査定ガアリマシテ、丙  
ト云フ者ガ之ニ關係シテ居ルト云フナラバ丙ト云フ  
人ガアル機會ニ於テ爭ハントスルトキニ爭ヘバ宜  
イノデアリマス、省カレテ居タノデアリマスカラ、  
マダ何等カノ地圖ニ載ッテ居ナイトキニ、サウ云フコ  
トガ起ラウト私ハ思フ、載ッテ居ナイナラバ通知シナ  
イデモ飛超エテ行クト云フコトハ、想像シ得ラレナ  
イ事實デアルト思フ

○宮古啓三郎君 只今ノ私ノ問ハ圖面ニ載ッテ居  
リ、明カニ調ベサヘスレバ分ルト云フコトニ對シテ  
申スノデアアル、全然分ラナカッタト云フ場合ニ於テ  
ハ、或ハドウモ通知ノ仕様ガナイト云フコトモアル  
カモ知レマセヌ 分ッテ居ル場合デアッタナラバ、甲ニ  
モ通知シ、乙ニモ通知スルト云フ御意見デアリマス  
ガ、此間ヲ間違ッテ下サツテハイケマセヌ、甲ノ地所  
ヲ飛超エテ乙ノ地所ノ真中頃ガ國有地ト民有地トノ  
場合ヲ想像シテ居ルノデアリマスカラ 單ニ境界査  
定ト云フモノガ——査定ダケヲ決メルト云フ事ニナ  
ルト、今ノ乙ト云フ者ノ地所ガ真中デアリマスカラ、  
ソコデ決メマシテ甲ト云フコトニナリマス、甲ノ真  
中ト云フモノガ飛超エテ居ルノデアリマスカラ、境  
界トシテ認メナイ狀態ニナツテ居ルノデアリマスカ  
ラ、此甲ト云フ所ノ地所ハ、自然ニ無クナツテシマウ  
ト云フヤウナ形ニナルノデアリマスカラ、ソレデハ



甲ト云フモノハ甚ダ困難ヲ感ズル譯ニナルノデアアルカラシテ、是ハ明カニ甲ニ對シテモ乙ニ對シテモ通知ヲスルシ、又甲モ乙モ共ニ行政訴訟ガ出來ルト云フコトニナツテ居リサヘスレバ、差支ナイノデアリマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、無論其甲ト云フ者ガ地圖ニモ載ツテ居ル公報ニアルモノデアリマスナラバ、同時ニ査定スルノハ當然ノコト、思ヒマス、ソレヲ捨テ、除カシテ居ルト云フコトハ、私共想像ガ付カスト思フノデアリマス、ケレドモ假ニ捨テ、居ツタト云フ場合ガアルトスレバ、先程御答シタ通りニ又査定ヲ願フモ宜シイ、申立テ、宜カラウト斯ウ思フノデアリマス、ケレドモ、手續トシテハ無論サウ云フ場合ニ於テハ、隣接地所有者タルコトガ決ツテ居ルノデアリマスカラ、當然ナルコトデアリマス、通告ヲスルノハドウモ御示シノヤウナ事實ハ、私ハ起ラナイト思フ、サウスルト其人ノ所有地ガ無イト云フコトニナルノデアリマス、否認スル譯ニナルノデアリマスカラ

○宮古啓三郎君 只今ノ御答ハ斯ウ見テ宜シウゴザイマスカ、私が申シタ場合ニ於テハ、十條ト十一條デハ隣接所有者トシテ甲ニモ通知シ、乙ニモ通知スル、二人ニ通知スル、二人共行政訴訟ヲ起シ得ル、斯ウ云フコトニ承知シテ宜シウゴザイマスカ、ハッキリシタ御答ヲ願マス

○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、私ノ御答ハ到底御質問ノ趣旨トハ一致シナイト思ヒマスノハ、サウ云フコトハ事實アリ得ナイコト、信ジテ居ル、飛超エテ東京ト神奈川縣トノ境ヲ確定スルノニ、モット一步ヲ飛超エテ愛知縣トカ何トカ云フ處へ通知シタ、斯ウ云フヤウナコトハドウモ起リ得ナイコト、思フ、若シモ起ツタトスレバ、隣リノ神奈川縣トノ間ノ査定ト云フモノハ、未ダ出來テ居ナイノデアリマスカラ——シナイノデアリマスカラ何時デモ神奈川縣カラ申立テレバ宜シイト思ヒマス、併シ農商務省ガ何ボ馬鹿デモ、東京ノ次ハ神奈川縣ト云フ事ハ載ツテ居ルンデスカラ、神奈川縣ニ通知スルノハ——境界査定ヲ神奈川縣ニ通知スルノハ當リ前デ、ソレヲ

大阪府へ行ツタトカ、静岡縣ニ行ツタト云フコトハ逆モ想像ガ付カスコトデスカラ、ソレヲ法文ニ當テハ解釋ノ仕様ガアリマセヌ

○宮古啓三郎君 只今田中政府委員ハ大キナ界ヲ仰シタルカラ、成程仰セノ通りニナルノデ、一縣飛越エテ他縣ニ行クヤウナコトハ、アリ得ナイト言ハレルガ、私ハサウ云フ大キナ問題デハナイ、小サイ問題デス、例ヘバ愛ニ國有地ガ百町歩アル、其次ノ隣接地ニ

甲ノ所有地ガ一町歩アル、其次ニ乙ノ所有地ガ百町歩アル、其場合ニ甲ノ所有地ガ僅カ一町歩デアアルカラ、政府ノ方デハ其中ノ乙ノ所有地ノ百町歩ガ界デアルト云フ風ニ看テ査定ヲスル、サウスルト甲ノ一町歩ノ所有地ト云フモノガ認メラレヌコトニナル、斯ウ云フ場合ニ此隣接地ノ甲ノ所有地一町歩ヲ政府ガ如何ニ御扱ヒニナルカ、即チ甲カラ見レバ國有地ノ隣接地デアアル、ソレヲ飛越エテ乙ノ方ニ往ツテ、政府ガ之ヲ界ナリト稱スルノデアリマスガ、ソレガ爲メニ甲ノ地所ガ一向譯ノ分ラヌモノニナツテシマフ、サウ云フ場合ニ矢張此法律ニハ甲ト云フ地所モ隣接所有地ト看テ是ニモ通知ヲスル、又乙ノ方ノ地所ノ内ニ界ヲ立テヤウトスルノデアアルカラ、是モ隣接所有地トシテ是ニモ通知ヲスル、即チ雙方ニ通知ヲスル、即チ行政訴訟ヲ起ス場合ニ、甲乙共ニ行政訴訟ヲ起シ得ルト云フコトニナラナケレバ本當デナイト思フガ、ソレヲ政府ハドウ扱フカト斯ウ言フノデス

○澤來太郎君 私ハ行政裁判官デアリマセヌカラ、今ノ問答ヲ裁判スル譯デハアリマセヌガ、御隣ノ宮古君ノ御問ニナル所ハ、至極御尤ナル御問デアルト思フ、之ニ對スル政府委員ノ答辯ハ甚ダ其當ヲ得ザルノミナラズ、其理由ヲ缺イデ居ルト思フ、ト云フノハ政府委員ノ想フノハ、サウ云フコトハ、事實アリ得ベカラザル事デアアル、萬アリ得ベカラザルコトヲ引用シ來ツテ、ソレヲ假想シテ問ヲ起シテ居ルノデアアルカラト云フヤウナ御考ニナツテ居ルヤウデス、併ナガラ私考ヘルノニ、是ハ事實アリ得ベカラザル事ニアラズシテ、アリ得ベキ事デ、丁度公有地ニ於ケル入會關係ノ如キモノデアッテ、矢張甲乙丙ト査定上ニ於テ利害關係ヲ有シテ居ルヤウナ事實ガアル、丁度公有

地ニ於ケル入會關係ト御承知下サレバ、一番早ク分ルデアラウト思フ、サウ云フ事ノアルノハ是ハ掩フベカラザル事實デアアル、只今御話ノ東京カラ直グニ京都ニ行クト云フヤウナ譯トハ違フ、成ベク私ハ何方ニモ依估最良ナク申上ゲタイノデアリマスガ、ドウモ農商務省政府委員ノ答辯ガ其當ヲ得ナイヤウニ思フ、餘リ無理ナ御問デモナイヤウデアリマスルノデ、ドウカ御近所ノ宮古君ニ御満足ヲ與ヘルヤウナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西野政府委員 只今宮古君ノ御問ノ事ハ一向分ラヌノデアリマスガ、併シ若シ事實ニ於テ隣接地ノ所有者トシテ法律上ノ根據ヲ有シテ居ル者ガ、隣接地ノ所有者ト認メラレズニ、何等ノ通知モナクシテ其邊ノ境界ガ査定セラレタ場合ニハ、矢張第三者ハ此法ノ規定ニ依ツテ官民有ノ區別ヲ行政訴訟若クハ訴訟ニ依ツテ願ヘバ、其願ニ對シテ相當救済ガ求メ得ラレルデハナイカト思ヒマス、ソレハ如何デゴザイマセウ、宮古君、其邊ノ御見解デハナイノデアリマセウカ

○宮古啓三郎君 私ハ其事ヲハッキリ出シテ置キタイノデス、此條文デ判レバ宜イガ、判ラナケレバセメテ政府委員ノ答辯デモハッキリ判ルヤウニシテ置イテ、後ニ爭ノ無イヤウニシタイト思フノデス、事實ニ於テ今ノヤウナ事ガ幾ラモ例ガアルノデス、今西野政府委員ノ答辯デハ、甲ノ地所ヲ政府ガ無視シテ居ルモノヲ云フノデアリマスガ、無視シテ居ラスモノガアル、甲ノ地所モ乙ノ地所モ同ジニ看テ居ル併シ此界ハ甲ノ地所ガ元來國有デアアル、乙ノ地所ノ内ガ界トナルト看ルノダカラ、其場合ニ甲ニ通知サレナイデ、甲ガ些トモ知ラス間ニ地所ガ無クナツテシマフ、斯ウ云フ場合ニハ矢張兩方ハ隣接地所有者トシテ通知モシ、雙方カラ行政訴訟ヲ起シ得ルヤウニナツテ居レバ宜イ

○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、ソレハ先程申上ゲタ事デ十分御分リデアラウト思フノデス、甲ト云フ人ガ通知モ受ケズ、又隣接地所有者トシテノ取扱ヲ受ケテ居ラナケレバ、自互ノ所有地境界査定ヲ要求スル權利モアルシ、官民有區別ヲ爭フ權利モアルノ

デス、通知ヲシナカッタト云フコトガ、偶然其時ノ  
査定ニダケ加ハラナカッタト云フ結果ガアッタダケデ  
其人ノ權利ガドウナッタト云フコトハナイデアリマ  
スカラ、甲ハ矢張何所マデモ此法律ノ各條ニ基イテ  
請求スレバ宜イノデス、偶々乙ト政府トノ間ニ或ル  
處分ガアッタ爲メニ、甲ノ土地ガ形ガ見エナクナッタ  
ト云フヤウナ事ハ、アリ得ベキ筈ハナイガ、併シサウ  
云フ場合ニハ査定ヲ爭フナリ、官民有區別ヲ爭フナ  
リスレバ宜イノデ、初カラ甲ガ在ルト云フコトガ判ツ  
テ居ツタ時分ニハ、査定スル場合ニ通知ヲスルノガ當  
然ノ話デ、ソレヲ通知シナイト云フコトハ、アリ得ナ  
イト云フコトヲ申シタノデアリマスカラ、是ダケヲ  
附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○宮古啓三郎君 私ハ實例ヲ申上ゲタノデ、甲ノ物  
カ乙ノ物カ判ラヌ間ニ、乙ノ所有地ノ内ヲ界ナリト  
シタ事カラ、行政訴訟ヲ起シタノデス、所ガオ前ノ方  
ニハ査定ノ通知モシテ居ラナイノダカラ、行政訴訟  
ヲ起ス權利ガ無イト云ツテ却下サレタノデス、ソコデ  
今度ハ反對ニ甲ガ民事裁判ニ訴ヘタ、私ハ境界査定  
ニ關係シテ居ラス、通知モ何モ無イ、私ハ民事訴訟ヲ  
起スト ッテ民事裁判ヲ起シタ、所ガ是ハ矢張通知ハ  
無イケレドモ、境界査定ハ、飛越エテ向フヘ往ツタノ  
ダカラ、矢張境界査定ハアッタト看ナケレバナラス  
云フノデ、民事裁判デ勝ツタ例ガアル、サウ云フ事ガ  
アルノデアリマスカラ、何トカ決メテ置カナケレバ  
ナラス問題ダラウト思ヒマス、今ノヤウナ場合ニ、甲  
ニモ乙ニモ通知スルト云フコトニスレバ、第十條及  
第十一條ノ規定ガ、サウ云フ場合ニ矢張兩方ニ通知  
スル、兩方ガ行政訴訟ガ起セルト云フコトニ、分ルヤ  
ウニシテ置ケバ宜イノデアリマス

○佐野正雄君 一寸今ノヤウナ問題ガアリマスガ、  
只今ノ隣接地所有者ノミ救済ノ法ガ認メラレテ居リ  
マスガ、隣接地ノ地壇ノ間ニ所有シテ居ル者ガアッ  
トスレバ、其境界ノ査定ニ依ッテ利害關係ガ生ズル、  
此場合ニ隣接所有者ノミ救済ノ途ガ立ッテ居ル、第三  
者所有者ニ對スル救済ノ途ガ缺クテ居ルヤウデアリ  
マスガ、是ハ如何ナル方法ニ依ッテサウ云フ場合ニハ  
致シマスカ

○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、ソレハ御尤ナ  
ル御尋ト思ヒマス、此法文ニ依リマス、土地ノ所有  
トダケト書イテアリマスガ、通知シナケレバナラス  
ヤウニ見エル譯デアリマス、何等カノ法式ヲ以テ通  
知スル必要ガアラウト思ヒマス、私モ咄嗟ノ間ニサ  
ウ考ヘマス、或ハ法律ヲ直シマスカ、細則ニ之ヲ書加  
ヘマスカ、施行令ヲ書キマスカ、兎モ角モ確ニ最モ重  
大ナルモノデアラウト思ヒマス

○澤來太郎君 序デアリマスカラ、境界査定ノコト  
ニ就テ、大藏省政府委員ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス  
ソレハ境界査定ノ要求ハ、矢張相互間ニ有シテ居ル  
ノデアルガ、少シ判明ニシテ、且ツ後日ノ苦情ノ根ヲ  
斷ツニ均シイコトデアラウト思ヒマスカラ、政府ニ  
シテ御差支ナクバ、矢張要求權ナルモノヲ雙方ニ持  
タセル、即チ政府ヨリモ其査定ヲ要求スル場合モア  
ル、人民側カラモ亦之ヲ要求スル權利アリト云フ事  
ヲ、判明ニシテ置キマシタナラバ、只今宮古君ノ御問  
ニナツタ事柄モ、自ラ解決スルト思ヒマス、即チ人民  
側ニモ査定ヲ要求權ヲ持タセル、政府ノ方ニモ、人民  
ノ方ニモ査定ノ必要アル場合ニハ、所謂片務的デナ  
ク兩方ニ通知スル、相互ノ權利關係ニ對シテ規定ス  
ルニハ、一體漠然トシテ居ル、御差支ナクバ御同意  
ヲ得テ、此修正ヲ致シテモ宜イモノデアラウト思フ、  
サウ致シマスルト、宮古君ノ御問モ自ラ解決シ、先頃  
野田君ノ御質問モ自ラ解決サル、コトデアル、是ハ  
一舉兩得デアルバカリデナク、一舉二得 四得デアル  
ヤウニシテ置キタイト思ヒマス、御同意ヲ願ヒマス  
○清盛太郎君 大部専門の問題モ出タヤウデアリマ  
スガ、今日ハ此位ニ止メテ置キマシテ、更メテ御研究  
ヲ願ッテハ如何デスカ

○降旗元太郎君 極ク簡單ニ私ハ政府委員ニ質問致  
シマス、先頃ハ宮古君カラ質問ニナツタ、各省別ノ國  
有財産ノ報告ヲ調ベテ貰フコトニナツテ居タ筈デス  
ガ、ソレハ成ベク詳細ニ願ヒタイト思フノデアリマ  
ス、丁度國有林野法——是デ見マシテモ、主務大臣ハ  
十箇年毎ニ其年ノ三月三十一日マデニ、計算表ヲ其  
開會中ノ議會ニ提出スルコトニナツテ居リマス、丁度  
今年ガ明治四十四年カラ十ヶ年目デアルカラ、國有

財産ノ一番其龐大ナル林野ニ就テ、モウ既ニ御調ガ  
著イテ居ルト思ヒマス、デアリマスカラ、其外ノモノ  
ハ大シタモノデナイカラ、成ベク詳細ニ御願ヲ申シ  
タイ、宮古君ノ先頃質問サレタ中ニハ、雜種財産ヲ特  
ニ區別シテト云フ言葉ガ無カッタガ、ソレモ附加ヘ  
テ、雜種財産ヲ特ニ區別シテ、其報告表ヲ頂戴シタ  
イ、ソレカラモウ一ツ此處デ伺ッテ置キタイノハ、大  
分御説モアッタヤウデアリマスガ、第二十四條ノ第一  
項ノ分、及第二項ノ分モ同様御調ヲ戴キタイ、私ノ要  
求ハソレダケデス

○野田文一郎君 先程宮古君カラ御質問ノアッタ第  
十條ノ中ニ隣接地云々、之ニ對スル政府委員ノ答辯  
ハ、結局私ハ要領ヲ得ナカッタヤウデアリマスガ、ド  
ウデアリマスカ、結末ガ著イテ居ナイヤウデアリマ  
スガ

○田中政府委員 結末ガ著イタ積リデ、實ハ安心シ  
テ居リマシタガ、ソレハ明ニ分ッテ居ル、隣接所有者  
デアリマス、云フコト、通知ヲシナケレバナラスノデ  
アリマス、當然シナケレバ何等カノ間違デ、誤ッテ地  
圖ニ載ッテ居ラナカッタトカ、知ラセガ無カッタト云  
フ爲メニ、或ル甲ナラ甲ト云フ人ガ洩レタト云フ  
ナラバ、其人ノ境界査定ト云フモノハ終ッテ居ナイモ  
ノニナツテ居リマスカラ、又全部其人ノ所有地ガ無ク  
ナル様ニナツタ日ニハ、官民有地ノ區別ヲシテ宜イ譯  
デアリマスカラ、決シテ其人ノ先ノ御示シニナツタ乙  
ト、政府トノ査定ノ結果、甲ト云フ人ノ權利ガ、暗カ  
ラ暗ニ葬ラレルト云フヤウナコトハ、決シテ無イト  
存ジマス、手續トシテハ圖面ニ載ッテ居リマスレバ、  
當然其人ニ知ラスト云フコトニナラウト思ヒマス、  
左様御承知ヲ願ヒマス

○野田文一郎君 サウ致シマス、結局宮古君ノ查  
定ニ御引ニナツタヤウナ場合ニ査定爲サル場合ニハ、  
甲ハ隣接地ト見ズシテ乙ヲ隣接地ト見テ、乙ニ對シ  
テ通知ヲシテ相當ノ手續ヲスル、此甲トノ關係ハ全  
ク別個ノ關係デアル、斯ウ云フコトニ理解シテ宜シ  
イノデスカ  
○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、甲ヲ隣接地ト  
見タ場合ハ無論甲ニ通知ヲ致シマス、ソレカラ乙ノ

午後四時二十二分散會

ミヲ隣接地デアルト云フコトニ致シマスレバ、甲ハ此或ル所有地、乙ノ所有地ノ中ニ包マレテ居ルト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、其包レテ居ル間ノ境界ト云フモノハ、査定ヲスルコトニナルノデアリマスカラ、若シモ甲ト云フ人ノ所有地ガ、政府ノ所有地ノ向フ迄進ンデ居ッテ、甲ノ中ニ包マレテ居リマスレバ、其包マレテ居ル關係ト云フモノハ、未ダ査定セラレズニアル譯デアリマスカラ、其査定ハ改メテ査定スルコトニナラウト思フノデアリマス

○委員長(清水市太郎君) 先刻來ノ政府委員ノ御答辯ヲ承ッテ居リマスノニ、甲ト云フ者ガ分ラナイデ居ルトキニハ、政府ハソレニ通知シナイ、サウシテ或時ニハ甲ノガ査定ニナラヌデ居ルト云フヤウニ承リマスガ、サウスルト知ラヌデ居ル中ニ査定サレテ居ル譯デアアル、通知ヲ受ケナイデ査定ヲサレテ居ル、其時ニハ政府委員ノ御答辯カラ推スト、十三條ニ依ッテ行政訴訟トナリ、訴願ガ出來ルト云フヤウデスガ、通知ヲ受ケナイデ居ルト、知ラヌデ居ル中ニ其期限ガ切レテシマウト云フヤウナコトガ出來スル、要スルニ此問題ハモウ少シ攻究シテ、次會ニ明確ナ御答ヲ得ルト云フコトニシテ、今日ハ此程度デ止メタイト思ヒマス

○田中政府委員 モウ一遍申上ゲマス、ソコデ私ハ寧ロ御問ノ權利ヲ保護スル上ニ於テ、マルデ知ラズニ居ルナラバ通知ヲ受ケテ居ラス、通知ヲ受ケナイデ査定ヲシテ居ラナイナラ、何時デモ其査定ヲ求メ、訴願訴訟ノ途ガ開イテアル、故ニ初メノ査定デ済ンデシマッテ居ルヤウニ御主張ニナルノハ、求メテ權利ヲ狭クスルト云フ事ニナル、通知モ受ケズ、査定モ受ケナイナラバ、何時デモ査定ヲナサルコトガ出來ルコトニナラウト思ヒマス、併シ明ニ圖ニ書イテアル者ニハ、通知スルト申上ゲテ居ルノデアリマス

○委員長(清水市太郎君) 私ノ言フノハ、含マレテ居ッテ知ラヌデ居ル場合ニハ政府ガ通知シナイ、サウシテ査定サレテシマウ、サウスルト矢張含マレタ人ノモノニナッテ、査定サレテ居ルト云フ疑ガアル、ソレデ是ハ次會ニモウ一遍御答ヲ願フコトニシテ、今日ハ是ニテ散會致シマス